

HERO 11
BLACK

GoProムーブメントに参加しよう



@GoPro



@GoPro



@GoPro



facebook.com/GoPro



@GoPro



pinterest.com/GoPro

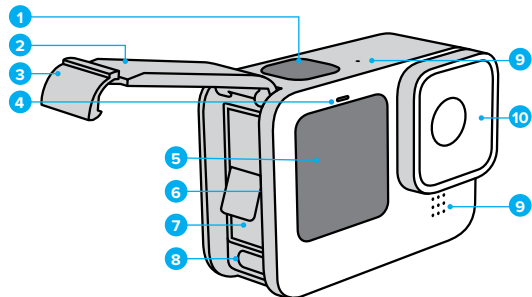
目次


HERO11 Blackの外観	6
カメラのセットアップ	8
GoProカメラの紹介	14
GoProのカスタマイズ	29
HERO11 Blackパワーツール	39
QuikCaptureの使用	47
HiLightタグの追加	48
画面の向きの設定	49
ビデオの録画	50
ビデオの設定	58
写真撮影	61
写真の設定	68
タイムラプスの撮影	70
タイムラプスの設定	76
ライブストリーミング + ウェブカメラモード	79
露出コントロール	80
音声でGoProを操作	84
メディアの再生	88
GoPro Quikアプリへの接続	92

目次

メディアの転送	94
ユーザー設定	99
重要なメッセージ	108
カメラのリセット	110
GoProのマウント方法	112
ドアの取り外し	117
メンテナンス	119
バッテリーの情報	120
トラブルシューティング	124
仕様:ビデオ	126
仕様:写真	139
仕様:タイムラプス	145
仕様:Protune	151
カスタマーサポート	159
登録商標	159
規制情報	159

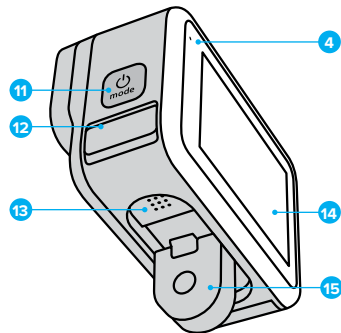
HERO11 Blackの外観




1. シャッターボタン 
2. ドア
3. ドアラッチ
4. ステータスライト
5. フロントスクリーン

6. microSDカードスロット
7. バッテリー
8. USB-Cポート
9. マイク
10. リムーバブルレンズ

HERO11 Blackの外観



11. モードボタン 
12. ドレインマイク
(排水用です。ドアやラッチ
ではないので開かないでく
ださい)

13. スピーカー
14. タッチスクリーン
15. フォールディングフィンガー

GoProに付属しているアクセサリの使用方法は、「GoProのマウント方法 (112ページ)」をご参照ください。

カメラのセットアップ

SDカード

ビデオと写真を保存するには、microSDカード(別売)が必要です。以下の要件を満たす大手メーカーのカードをご使用ください。

- microSD、microSDHC、またはmicroSDXC
- 規格クラスV30、UHS-3以上
- 最大容量512GB

推奨されるmicroSDカードのリストについては、gopro.com/microsdcardsをご覧ください。

SDカードを取り扱う前に、手が清潔で乾いていることを確認してください。カードの許容温度範囲やその他の重要事項は、カード製造元のガイドラインを確認してください。

注意：SDカードは時間の経過とともに劣化し、カメラのメディア保存機能に影響を与える可能性があります。問題が発生した場合は、カードを新しいカードに交換してください。

GoProテク：定期的にはSDカードをフォーマットして、適切な状態に保ってください。フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「SDカードをフォーマット」の順にタップします。

ビデオと写真を保存する方法については、「[メディアの転送 \(94 ページ\)](#)」をご参照ください。

カメラのセットアップ

リチャージャブルバッテリー

最大限のパフォーマンスを得るため、新しいGoProでは必ずEnduroバッテリーを使用してください。

GoProテク：以下の操作でバッテリーの状態をチェックし、適切なバッテリーを使用していることを簡単に確認することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「バッテリー情報」の順にタップします。



警告：GoPro純正以外のバッテリーを使用するとカメラのパフォーマンスが大幅に制限される可能性があります。GoPro純正以外のバッテリーを使用すると、保証が無効になります。また火災、感電、その他の安全上のリスクが生じる可能性があります。

バッテリーの安全性と使用方法の詳細については、「[バッテリーの情報 \(120 ページ\)](#)」をご参照ください。

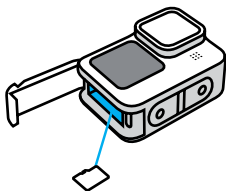
カメラのセットアップ

SDカードとバッテリーのセットアップ

1. ドアラッチのロックを解除し、ドアを開きます。



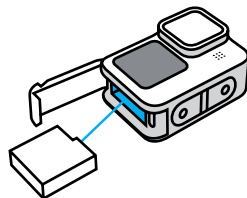
2. カメラをオフにしてバッテリーを取り外し、SDカードのラベルをバッテリーコンパートメント側に向けた状態でカードスロットに挿入します。



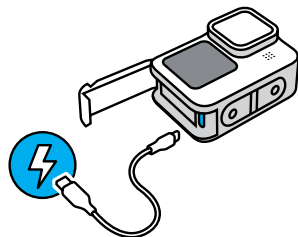
SDカードを取り出すには、カードを指の爪でスロット内に押し込みます。

カメラのセットアップ

3. バッテリーを装着します。



4. 付属のUSB-CケーブルでカメラをUSB充電器またはコンピューターに接続します。

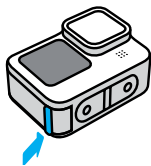


バッテリーがフル充電されるには約3時間かかります。充電が完了すると、カメラステータスライトがオフになります。詳細については、「[バッテリーの情報 \(120ページ\)](#)」をご参照ください。

GoProテク：高速充電には、GoPro Supercharger (スーパーチャージャー、別売) を使用してください。

カメラのセットアップ

5. 充電が完了したら、ケーブルのプラグを抜き、ドアを閉じます。カメラを使用する前に、ドアラッチが閉じられ、ロックされていることを確認してください。



注: このカメラのドアは着脱式です。ドアを閉じた後、ドアがしっかりとロックされ、密閉されていることを確認してください。

カメラのセットアップ

カメラのソフトウェアを更新する
GoProで最新機能を使用して最高の性能を楽しむには、カメラのソフトウェアが最新であることを確認してください。

GoPro Quikアプリを使用した更新

1. Apple App StoreまたはGoogle Playからアプリをダウンロードします。
2. 画面上の指示に従い、カメラをモバイルデバイスに接続します。新しいカメラソフトウェアが利用可能な場合は、アプリにインストール方法が表示されます。

手動による更新


1. gopro.com/updateをご参照ください。
2. カメラのリストから「HERO11 Black」を選択します。
3. 「手動でカメラを更新」を選択し、指示に従います。

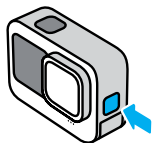
GoProテク: 使用しているソフトウェアのバージョンを知りたい場合は、以下の手順で確認できます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「バージョン情報」 > 「カメラ情報」の順にタップします。


GoProカメラの紹介

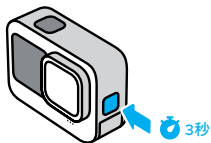
電源オン

カメラの電源をオンにするには、モードボタン  を押します。



電源オフ

電源をオフにするには、モードボタン  を3秒間長押しします。



警告：GoPro本体およびマウントやアクセサリは、充分にご注意の上ご利用ください。使用者および周囲の人々に危険が生じないよう、使用時には常に周囲に気を配ってください。

現地の各種プライバシー法など、特定地域での録画を制限しうるすべての法律に従ってください。

GoProカメラの紹介

フロントスクリーン

フロントLCDスクリーンには、カメラのステータスとレンズからのライブビューが表示されます。これにより、完璧にフレーミングされたショットを簡単に撮影できます。




1. 残りの録画時間 / 写真の枚数
2. バッテリーステータス
3. 現在のモード (ビデオ、写真、タイムラプス)
4. 撮影設定

GoProカメラの紹介





ディスプレイオプション

フロントスクリーンには4つのディスプレイオプションがあります。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして、フロントスクリーンの設定にアクセスします。
3. 目的の設定のアイコンをタップします。

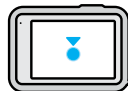
設定

説明

 フルスクリーン	ライブプレビューをフルスクリーンショットとして表示します。表示用の画像はトリミングされていますが、撮影自体はトリミングなしで実行されます。
 実際の画面	トリミングせずにレンズからライブプレビューを表示します。
 ステータスのみ	レンズからのライブプレビューを表示せずにカメラのステータスを表示します。
 画面オフ	画面をオフにします。この設定は、画面の光が撮影に影響する可能性がある暗い環境で使用します。この設定では、バッテリーの駆動時間が最大になります。

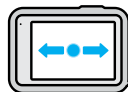
GoProカメラの紹介

リアタッチスクリーンの使用



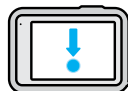
タップ

アイテムを選択し、設定のオン / オフを切り替えます。



左右にスワイプ

ビデオ、写真、タイムラプスの3モードを切り替えます。



画面の端から下にスワイプ

カメラが横向きになっている場合にダッシュボードを開きます。



画面の端から上にスワイプ

最後に撮影した写真またはビデオを表示し、メディアギャラリーにアクセスします。




撮影画面を長押し

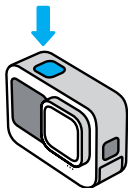
露出コントロールをオンにして調整します。


GoProテク: リアスクリーンをタップすると、フロント / リアスクリーンでカメラのステータス情報とアイコンを非表示にできます。画面をもう一度タップするか、ボタンを押してすべてを元に戻します。

GoProカメラの紹介

ショットの撮影

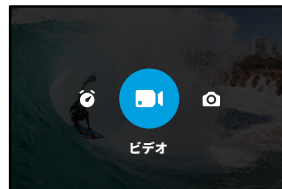
1. 録画を開始するには、シャッターボタン  を押すだけです。



2. シャッターボタン  をもう一度押して、録画を停止します (ビデオ、タイムラプス、およびライブストリーミングのみ)。

GoProカメラの紹介

GoProには、3つのメイン撮影モードがあります。



リアタッチスクリーンを使用して、左右にスワイプして目的のモードにします。

イーजीコントロール (初期設定)

GoProを対象に向けて撮影するだけのシンプルな操作で、素晴らしい写真や映像を簡単に撮影できます。各モードには、ほとんどの撮影に適した汎用的なプリセットが含まれています。

ビデオ (初期設定)

広角デジタルレンズで5.3Kビデオを30フレーム / 秒で撮影できます。画面上のショートカットにより、簡単にデジタルレンズを交換してスローモーション映像を撮影することもできます。

写真

広角デジタルレンズでアスペクト比8:7の27MP写真を撮影できます。画面上のショートカットを使って、デジタルレンズの切り替えや写真タイマーの設定を行うことができます。

タイムラプス

広角デジタルレンズでTimeWarp (タイムワープ) 映像を撮影できます。画面上のショートカットを使って、スピードラプスやデジタルレンズの切り替えができます。

GoProカメラの紹介

プロコントロール

プロコントロールを使用することで、GoProのプリセット設定を解除して、すべてのモード、設定、機能を思いのままにコントロールできるようになります。

ビデオ (初期設定)

ビデオには、標準、アクティビティ、シネマティック、スローモーションのプリセットが含まれます。

詳細については、「[ビデオの録画 \(50ページ\)](#)」をご参照ください。

写真

写真には、写真バースト、ナイトのプリセットが含まれています。

詳細については、「[写真撮影 \(61ページ\)](#)」をご参照ください。


タイムラプス

TimeWarp (タイムワープ)、スタートレイル、ライトペインティング、ライトトレイル、タイムラプス、ナイトラプスのプリセットが含まれています。

詳細については、「[タイムラプスの撮影 \(70ページ\)](#)」をご参照ください。

注意: GoProの電源をオンにすると、読み込んですぐに使用できるプリセットを選択できます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「一般」 > 「初期設定プリセット」の順にタップします。

GoProテク: カメラの電源がオンになっているときは、モードボタン  を押してモードを切り替えることができます。

GoProカメラの紹介


コントロールの切り替え

初期設定はイージーコントロールですが、わずか数回のスワイプとタップでプロコントロールに切り替えることができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にタップして「インターフェイス」をタップすると、イージーコントロールとプロコントロールが切り替わります。

ビデオモード

これらのモードにより、カメラの使用法に基づいてビデオパフォーマンスを最適化することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして  をタップすると、各モードが切り替わります。

最高品質 (初期設定)

最高品質のビデオ解像度とフレームレートにより、極めてクオリティの高いビデオと超スローモーション撮影が可能になります。

詳細については、「[最高品質ビデオモード \(131ページ\)](#)」をご参照ください。

バッテリー駆動時間を伸ばす

標準品質のビデオ解像度とフレームレートを使用すればバッテリーの駆動時間を伸ばすことができます。標準でも十分高品質です。詳細については、「[省電力バッテリー設定 \(133ページ\)](#)」をご参照ください。

GoProテク: 省電力モードでは標準プリセットを使用しましょう。

GoProカメラの紹介


タッチスクリーン

リアタッチスクリーンで、カメラの撮影設定を行うことができます。



1. 現在のモード (ビデオ、写真、タイムラプス)
2. 残りの録画時間 / 写真の枚数
3. カスタマイズ可能な画面上のショートカット
4. 撮影設定
5. バッテリーステータス

注意: この撮影設定は、GoProで縦方向に撮影する場合には使用できません。カメラを回転させる前に、必要な設定を選択してください。

GoProテク: モードボタン  を押すと、大半の画面からすばやくこの画面に戻ることができます。

GoProカメラの紹介

プリセットの変更

各撮影モードにはプリセットが用意されており、ショットに最適なモードと設定を簡単に切り替えることができます。

1. 撮影設定をタップします。



2. 使用するプリセットをタップします。プリセットの設定がすべてカメラにロックされ、準備が完了します。



GoProカメラの紹介

プリセットのカスタマイズ

数回タップするだけで、プリセットの設定を変更できます。

1. 撮影画面で撮影設定を長押しすると、直接設定メニューをアクセスできます。



2. 変更したい設定をタップします。



GoProカメラの紹介

画面に表示される指示で、オプションの概要を確認できます。




設定の詳細については、「仕様 (126ページ〜)」をご参照ください。

3. 下にスクロールすると、高度な設定が表示されます。



すべての高度な設定の詳細については、「Protune (151ページ〜)」をご参照ください。


GoProカメラの紹介

4.  をタップして変更を保存し、プリセット画面に戻ります。




注意：予めカメラに登録されているプリセットは削除できませんが、好みに合わせてカスタマイズすることができます。また、独自のカスタムプリセットを作成することもできます。

詳細については、「[オリジナルのプリセットの作成 \(29ページ\)](#)」をご参照ください。


GoProテク：調整したいプリセットの横にある  をタップして設定メニューを開くこともできます。

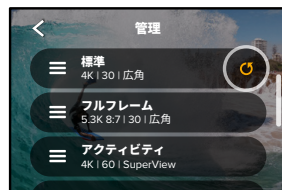
GoProカメラの紹介

プリセットを初期設定に戻す
プリセットは、いつでも初期設定に戻すことができます。

1.  をタップします。



2.  をタップします。





3. 「完了」をタップします。

注意：設定のリストの最後までスクロールし、「元に戻す」をタップすることもできます。

GoProカメラの紹介

ボタンでナビゲートする

GoProは防水ですが、水中ではタッチスクリーンが機能しません。ボタンとフロントスクリーンを使用して、モードとプリセットを交換します。

1. カメラの電源がオンになっているときは、モードボタン  を押してモードを切り替えることができます。
2. モードボタンを押したまま、シャッターボタン  を押します。フロントスクリーンにメニューが表示されます。
3. モードボタンを押して、スクロールしながらプリセットを確認します。
4. シャッターボタンを押して、プリセットを選択します。

注意：ボタンを使用してナビゲートする場合は、ダッシュボードとメディアギャラリーは使用できません。

GoProのカスタマイズ

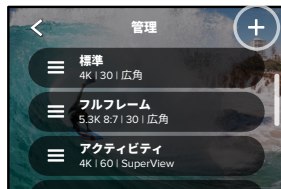
独自のプリセットの作成

ゲレンデでの1日を撮影するのに最適な設定は、屋内での撮影にはあまり適していない場合があります。カスタムプリセットを使用すると、両方の設定を保存しておくことができるため、すぐに切り替えることができます。

1. 撮影設定をタップし、右上隅にある  をタップします。

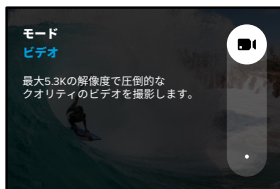


2. 右上にある  をタップします。



GoProのカスタマイズ

3. プリセットモードを選択します。



設定をタップして変更します。



画面に表示される指示で、オプションの概要を確認できます。すべての設定の詳細については、「仕様 (126ページ〜)」をご参照ください。

GoProのカスタマイズ

4. 下にスクロールすると、高度な設定が表示されます。



高度な設定の詳細については、「Protune (151ページ〜)」をご参照ください。

5. 終了したら、✓をタップします。




GoProのカスタマイズ

6. プリセットのアイコンと名前を選択します。




7. ✓ をタップして、プリセットを保存します。


試した後にプリセットの微調整が必要になる場合があります。プリセットの横にある  をタップして調整します。

GoProのカスタマイズ

プリセットを削除する

1.  をタップします。



2.  をタップします。



注意: 設定のリストの最後までスクロールし、「消去」をタップすることもできます。

GoProのカスタマイズ

推奨設定

以下は、お気に入りのアクティビティの撮影に最適なモードと設定です。プリセットの出発点としてそれらを試してから、自分に最適なものを見つけましょう。

アクティビティ	ビデオ	写真
空中	<ul style="list-style-type: none">4K60、広角レンズ1080p120、広角レンズ15倍タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (1秒間隔)、1080p120、広角レンズ連写 (30/3レート)、広角レンズ
バイク	<ul style="list-style-type: none">5.3K30 8:7、広角レンズ4K30 4:3、広角レンズ2.7K60 4:3、広角レンズ15倍タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (5秒間隔)、広角レンズ
屋内	<ul style="list-style-type: none">4K30 4:3、広角レンズ1080p30、広角レンズ	<ul style="list-style-type: none">写真、広角レンズ
車両	<ul style="list-style-type: none">4K30 4:3、広角レンズ2.7K60 4:3、広角レンズ15倍タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (5秒間隔)、広角レンズ
マウント	<ul style="list-style-type: none">5.3K30、広角レンズ4K60 4:3、広角レンズ自動タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (5秒間隔)、広角レンズ
屋外	<ul style="list-style-type: none">5.3K30、広角レンズ4K60 4:3、広角レンズ10倍タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">写真、広角レンズ

GoProのカスタマイズ


アクティビティ	ビデオ	写真
POV*	<ul style="list-style-type: none">4K60 4:3、広角レンズ4K120 4:3、広角レンズ15倍タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (2秒間隔)、広角レンズ連写 (30/3レート)、広角レンズ
自撮り	<ul style="list-style-type: none">4K30 4:3、狭角レンズ4K60 4:3、広角レンズ	<ul style="list-style-type: none">写真、狭角レンズ、SuperPhoto、写真タイマー
雪	<ul style="list-style-type: none">4K60、広角レンズ1080p120、広角レンズ15倍タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (1秒間隔)、広角レンズ連写 (30/3レート)、広角レンズ
トレイル	<ul style="list-style-type: none">4K30 4:3、広角レンズ4K60 4:3、広角レンズ15倍タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">写真、広角レンズ
旅行	<ul style="list-style-type: none">5.3K30、広角レンズ4K60 4:3、広角レンズ10倍タイムワープビデオ	<ul style="list-style-type: none">写真、広角レンズ
水中	<ul style="list-style-type: none">4K60、広角レンズ1080p240、広角レンズ	<ul style="list-style-type: none">タイムラプスフォト (2または5秒間隔)、広角レンズ連写 (30/6レート)、広角レンズ

*視点 (POV) ショットは、ボディマウントまたはハンドヘルドマウントを使用して自分の視点から撮影されたショットです。

GoProのカスタマイズ

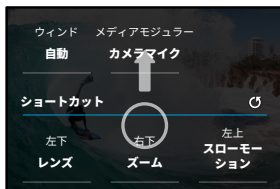
画面上のショートカットのカスタマイズ

画面上のショートカットを使用すると、カメラの撮影設定に1回のタップですばやくアクセスできます。各モードには独自の初期設定のショートカットがありますが、最もよく使用する設定に変更できます。プリセットごとに異なるショートカットを設定することもできます。

1. 調整するプリセットの横にある  をタップします。



2. 下にスクロールして画面上のショートカットまで移動します。

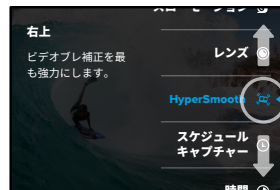


GoProのカスタマイズ

3. 新しいショートカットを追加する場所をタップします。



4. 右側にある使用可能なすべてのショートカットをスクロールして、目的のショートカットを選択します。



ショートカットの詳細については、「仕様 (126ページ〜)」および「Protune (151ページ〜)」をご参照ください。

GoProのカスタマイズ

5. ◀ をタップして変更を保存し、プリセット画面に戻ります。



これでショートカットをタップするだけで、設定を変更できるようになります。


HERO11 Black パワーツール

GoProは、撮影の新たな可能性を広げるパワーツールを搭載。シャッターボタンを押す撮影では実現できなかった撮影オプションが得られます。

HINDSIGHT

HindSight (ハインドサイト) は、シャッターボタンを押した時点から最大30秒前までさかのぼってビデオを撮影できる機能です。この機能により、すでに過ぎ去った決定的瞬間まで記録できるようになります。

HindSightの使用

お子さんのプレーが試合の勝敗を決めたシーンを想像してみてください。これは、見逃したくない瞬間です。HindSightをオンにして、ショットをフレーミングします。ここで録画を開始する必要はありません。ファインプレーが起きた後に、シャッターボタン  を押しましょう。HindSightにより、シャッターボタンを押す前に撮影されたビデオ (最大30秒) が保存され、ビデオを停止するまで録画が続行されます。

HindSightのセットアップ

1. 「ビデオプリセット」を選択したら、撮影設定を押したまま、設定メニューに移動します。



HERO11 Blackパワーツール



2. 「HindSight」をタップします。




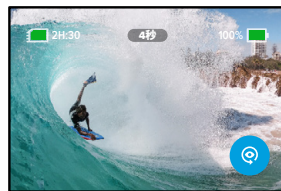
3. HindSightを15秒または30秒に設定します。



HERO11 Blackパワーツール

リアタッチスクリーンに  が表示され、HindSightがオンになっていることが通知されます。シャッターボタン  を押して任意のタイミングで録画を開始します。

HindSightバッファがいっぱいになると、画面の上部中央にあるインジケータが青色に変わります。つまり、カメラには、ここまでの15秒または30秒のビデオが記録されています。シャッターボタン  を押して録画を開始した場合のみ、ビデオは保存されます。



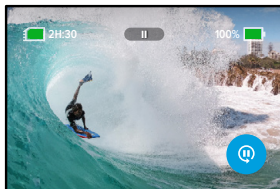
注意：HindSightでの撮影を開始する前に、撮影設定を完了してください。HindSightがオンになったら、設定は変更できなくなります。

HERO11 Blackパワーツール

また「停止 HindSight」をタップして、HindSightをキャンセルし、バッテリーの電力を節約することもできます。



またHindSightをオンにした後、15分経っても録画が開始されない場合、カメラ内でHindSightが一時停止されます。これもバッテリーの電力を節約するための機能です。



注意：HindSightは、機能を有効にしている間（録画していない時でも）ビデオを撮影し続ける機能です。使用方法によっては、通常のビデオモードで録画するよりも、カメラのバッテリー残量が速く消費される場合があります。

HERO11 Blackパワーツール

スケジュールキャプチャー

スケジュールキャプチャーでは、GoProが自動的にオンになり、最大で撮影をする24時間前からスケジュールを設定することができます。すべてのプリセットで使用できます。

スケジュールキャプチャーのセットアップ

1. 撮影画面で撮影設定を押したまま、設定メニューに移動します。



2. 「スケジュールキャプチャー」をタップします。



HERO11 Blackパワーツール


- GoProで撮影をするタイミングを設定します。



- 時刻の設定後は、GoProの電源をオフにするか、カメラの他のプリセットを引き続き使用できます。

注意：撮影後もGoProはオンのままになります。「ユーザー設定」で指定した時間にわたりアイドル状態になると、自動的にオフになります。

- リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
- 左にスワイプして「ユーザー設定」>「一般」>「電源の自動オフ」の順にタップします。

GoProテク：スケジュールキャプチャーを使用する場合は、デュレーションキャプチャーを使用してショットの長さを選択しましょう。撮影後、自動的にカメラの録画が停止されます。デュレーションキャプチャーを使用していない場合は、シャッターボタン  を押して録画を停止する必要があります。

HERO11 Blackパワーツール

デュレーションキャプチャー

デュレーションキャプチャーを使用すると、GoProが録画を開始し、自動的に停止するまでの時間を設定できます。ビデオ、TimeWarp（タイムワープ）、タイムラプス、ナイトラプスの各モードで、15秒単位で3時間まで選択できます。

デュレーションキャプチャーのセットアップ

- 撮影画面で撮影設定を押したまま、設定メニューに移動します。

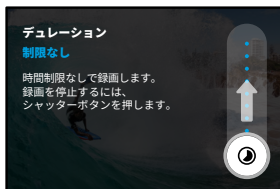



- 「時間」をタップします。




HERO11 Blackパワーツール

3. 撮影時間を選択します。



4. シャッターボタン  を押して録画を開始します。GoProは、設定された時間が経過すると自動的に録画を停止します。


注意：デューレーションキャプチャーでは、GoProが録画する時間を設定します。最終的なビデオの長さは、使用しているモードによって異なります。TimeWarpビデオおよびタイムラプスビデオで撮影した場合、保存される動画は設定した時間より短くなります。

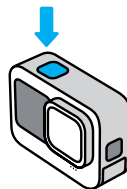
GoProテク：「制限なし」を選択すると、時間制限なしで映像を撮影できます。録画を停止するには、シャッターボタン  を押します。


QuikCaptureの使用

QuikCapture (クイックキャプチャー) を使えば、すぐ、簡単にGoProの電源を入れ、撮影をすることができます。シャッターボタンを押すだけです。

QUIKCATUREでビデオを録画する

1. カメラの電源がオフの状態では、シャッターボタン  を押します。




2. 録画を停止し、カメラの電源をオフにするには、シャッターボタン  をもう一度押します。

注意：QuikCaptureを使用すると、最後に使用したビデオ設定で録画が開始されます。

その他のビデオオプションについては、「[ビデオの録画 \(50ページ\)](#)」をご参照ください。



QUIKCATUREをオフにする

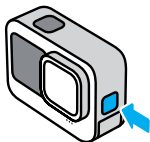
QuikCaptureは初期設定でオンになっていますが、オフにすることができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップします。

GoProテク：録画のときだけカメラの電源がオンになるQuikCaptureを使用すれば、バッテリー残量を最大限に引き延ばすことができます。

HiLightタグの追加

ビデオや写真のお気に入りの場面にマークを付けるには、撮影中や再生中にモードボタン  を押します。HiLight (ハイライト) タグ  を追加することで、映像を見たり、ビデオを作成したり、特定のショットを探す際の検索が簡単になります。




音声コントロールを使用すれば、「GoPro、ハイライト」と発声する事によりHiLightタグを追加できます。また、GoPro Quik (クイック) アプリでも、映像を確認する際に  をタップしてHiLightタグの追加が可能です。

GoProテク：Quikアプリは、ビデオを作成するときにHiLightタグを自動検索します。これにより、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

画面の向きの設定


カメラを回転させることで、撮影の横向きと縦向きを簡単に切り替えることができます。上下逆にマウントしても、正しい向きでビデオと写真が撮影できます。

シャッターボタン  を押すと、カメラの方向がロックされます。ジェットコースターに乗っているときのように、カメラを録画中に傾けると、映像も傾きます。すべてのひねりや回転が表現されます。

方向のロック

横向きまたは縦向きに画面をロックできます。これは、ボディマウントやハンドヘルドマウントを使用している場合に特に便利です。このような状況では、間違った向きでの撮影が発生する可能性が大幅に高くなるからです。

リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。

1. カメラを目的の方向に向けます。
2. ダッシュボードの  をタップします。

これで画面がロックされ、カメラの向きに一致します。

注意：この方法での画面のロックは、ユーザー設定で「方向」が「すべて」(初期設定) に設定されている場合にのみ機能します。

横方向ロックの設定


GoProを横方向でのみ撮影するように設定することもできます。

リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。

1. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「ディスプレイ」 > 「方向」の順にタップします。
2. 「自動」(初期設定) から「横方向」に切り替えます。

カメラの向きが正しい場合も、逆になっている場合も、GoProは正しい向きで録画を実行します。ダッシュボードで方向をロックすることもできます。

ビデオの録画

GoProには5つのビデオプリセットが用意されています。プリセットを選択したら、シャッターボタン  を押して録画を開始します。

標準 (初期設定)

汎用性の高いプリセットで、あらゆる用途の録画に適しています。5.3Kビデオ (省電力モードでは1080p) を30フレーム/秒 (fps) で撮影して、スマートフォンやTVでフルスクリーン再生ができるようにします。デジタルレンズは、フレーム内により広い範囲を収められるよう広角に設定されています。

フルフレーム (最高品質モードのみ)

このプリセットでは、広角デジタルレンズで5.3Kビデオを最も臨場感あふれるアスペクト比8:7を30fpsで撮影することができます。各ショットの縦横両方向に長くなるため、9:16の縦長ショットやSNSの各プラットフォームに応じたサイズのショットを、少ないクロップで作成できます。

アクティビティ

このプリセットでは、お気に入りのアクティビティで臨場感あふれる瞬間を撮影することができます。SuperView (スーパービュー) デジタルレンズで、4Kビデオ (省電力モードの場合は2.7K) を60fpsで録画するため、クラシックなGoProスタイルのビデオを、高解像度で全画面再生できます。

シネマティック

高品質の5.3K高解像度ビデオ (省電力モードの場合は4K) を30fpsで撮影します。このプリセットはリアデジタルレンズ (最高品質モードでは水平ロックも追加) を使用することで魚眼効果を無効にし、ドラマチックでシネマティックな映像を実現します。

スローモーション

速い動きを追うショットに最適です。このプリセットは、広角レンズで2.7Kの映像を240fps (省電力モードの場合は1080p、240fps) で録画します。これにより、再生時に通常の1/8の速度まで減速して、肉眼では見ることのできない見事なディテールを捉えることができます。

ビデオの録画

画面上のショートカット

ビデオプリセットには4つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ \(36ページ\)](#)」をご参照ください。

スローモーション

ビデオの録画速度を変更するには、スローモーションショートカットをタップします。

1. 録画を開始する前に **2x** をタップします。




ビデオの録画

2. スライダーを使用して、1倍 (24または30フレーム/秒)、2倍、4倍、8倍スローモーションのいずれかを選択します。



注意：利用できる速度は、選択した解像度とデジタルレンズによって異なります。スローモーションは5K 4:3での録画時には利用できません。


3. シャッターボタン  を押して録画を開始します。

GoProテク：スローモーションで録画したビデオは、スローモーションまたは通常の速度で再生できます。

ビデオの録画

デジタルレンズ

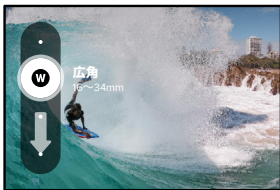
GoProでのデジタルレンズの変更は、旧式のカメラでのレンズ交換と同様です。レンズは、ショットの視野角、クロップ、魚眼効果に影響します。

1.  をタップします。



ビデオの録画

2. オプションをスクロールして各オプションのライブプレビューを確認してから、目的のオプションをタップします。



注意：一部のデジタルレンズは、一部のフレームレートでのみ機能します。レンズを交換すると、必要に応じてGoProが自動的にフレームレートを調整します。


GoProテク：リニア + 水平ロックおよびリニア + 水平維持デジタルレンズを使用すると、水平がしっかりと維持された、シネマティックなプロ品質のビデオを撮影することができます。

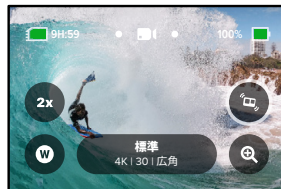
詳細については、「[水平ロック / 水平維持 \(134ページ～\)](#)」をご参照ください。

ビデオの録画

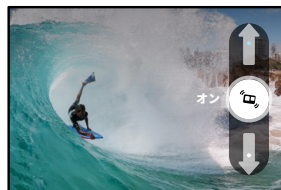
HyperSmooth

HyperSmooth (ハイパースムーズ) ショートカットを使用すると、ビデオブレ補正のレベルをすばやく選択できます。

1. 録画を開始する前に  をタップします。



2. スライダーを使用して、HyperSmoothの「オフ」、「オン」、「ブースト」、または「自動ブースト」を選択します。



詳細については、「[HyperSmoothビデオブレ補正 \(137ページ\)](#)」をご参照ください。


ビデオの録画

注意：HyperSmoothオプションは、選択したビデオ解像度とフレームレートによって異なる場合があります。

GoProテク：HyperSmoothブーストは、画像をしっかりとクロップすることで、最高レベルのビデオブレ補正を実現します。HyperSmoothをオフにすると、ブレ補正のビデオがクロップなしで撮影されます。「オン」または「自動ブースト」の設定を使用すると、より広い視野角で安定したビデオが撮影できます。

タッチズーム

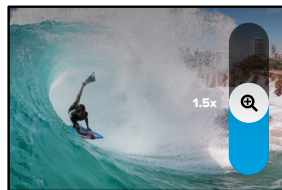
タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。



ビデオの録画

2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。





3. ズームレベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

ビデオループ



ループを使用すると、気に入った瞬間が撮影できるまで連続的にループ録画をすることで、SDカードのスペースを節約できます。何かが起こるのを待っているときに使用したり（釣りなど）、何も起こらないかもしれないときに使用します（車載カメラなど）。

仕組み：

- ループの間隔を5分に設定すると、シャッターボタン  を押して録画を停止した直前の5分のみが保存されます。
- 5分間録画してシャッターボタン  を押さなかった場合は、カメラはループバックして、ビデオの開始地点から重ね録りします。

ビデオループの設定

ビデオループを撮影するには、新しいプリセットを設定する必要があります。

1. ビデオ撮影設定をタップし、右上隅にある  をタップします。
2. 右上にある  をタップします。
3. 「ループ」をタップし、希望する設定を選択します。

ビデオの設定

ビデオ設定の詳細を説明します。✎をタップしてから、変更する設定をタップします。



RES | FPS

ここではアスペクト比、解像度 (Res)、フレームレート (フレーム/秒または fps) を選択できます。アスペクト比は上段に表示されます。解像度は中段に表示されます。フレームレートは下段に表示されます。

希望するいずれかの設定をタップすると、カメラが互換性のある最適な設定を選択します。たとえば、アスペクト比16:9をタップすると、カメラが自動的にフレームレート60fpsの5.3Kビデオを選択します。これらは青色で強調表示され、画面の中央に表示されます。変更するには、他の解像度またはフレームレートをタップします。

注意：利用できる設定は、選択したアスペクト比、解像度、フレームレートによって異なります。互換性のある設定は青色または白色で表示されます。互換性のない設定はグレーで表示されます。

詳細については、以下をご参照ください。

- [ビデオの解像度 \(146 ページ\)](#)
- [フレーム/秒 \(FPS\) \(128 ページ\)](#)
- [アスペクト比 \(ビデオ\) \(129 ページ\)](#)

ビデオの設定

レンズ

撮影に最適なデジタルレンズを選択します。HyperView、SuperView、広角、リニア + 水平ロック / 維持、リニアがあります。初期設定のレンズは、プリセットによって異なります。注意：利用できるレンズは、選択した解像度とフレームレートによって異なります。

詳細については、「[デジタルレンズ \(ビデオ\) \(130 ページ\)](#)」をご参照ください。

間隔 (ループ)

ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りするまでに、GoProが録画する時間を選択します。初期設定の間隔は5分です。

詳細については、「[ループの間隔 \(138 ページ\)](#)」をご参照ください。

HYPERSMOOTH

サイクリング、スキーなどでの手持ち撮影に最適です。HyperSmooth (ハイパースムーズ) ビデオブレ補正機能が、ジンバルを使用しているかのような驚くほど滑らかな映像を実現します。使用可能な設定は、「オフ」、「オン」、「ブースト」、「自動ブースト」です。

詳細については、「[HyperSmooth ビデオブレ補正 \(137 ページ\)](#)」をご参照ください。


スケジュールキャプチャー

GoProの電源を自動的にオンにして撮影を開始するタイミングを設定します。

時間

カメラが自動的に録画を停止するまでの時間を選択できます。

HINDSIGHT

シャッターボタン  を押す前に、15秒または30秒のビデオを保存するかどうかを選択します。

ビデオの設定

タイマー

ビデオのタイマーを3秒または10秒に設定します。

タッチズーム


タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズームレベルをロックします。

PROTUNE

Protune (プロチューン) では、ビットレート、カラー、ISO上限、露出、マイクの設定などの詳細設定を手動で制御できます。

詳細については、「[Protune \(151ページ\)](#)」をご参照ください。

写真撮影

GoProには3つの写真プリセットが用意されています。撮影する写真のタイプを選択してシャッターボタン  を押すだけで、ショットを撮影できます。すべての写真は27MPで撮影されます。アスペクト比はソーシャルメディアに最適な汎用性に優れた8:7となります。3つのプリセットのいずれもデジタルレンズの初期設定は「広角」です。

詳細については、「[アスペクト比 \(ビデオ\) \(129ページ\)](#)」をご参照ください。

写真 (初期設定)

このプリセットを使用して、SuperPhoto (スーパーフォト) 画像処理で写真を撮影します。シャッターボタン  を1度押すと、1枚写真を撮影します。

バースト

バーストでは、高速レートで一連の写真を撮影します。速い動きの撮影に最適です。このプリセットでは照明条件に基づいて1秒間に最大30枚の写真を自動的に撮影します。

ナイト

ナイトプリセットでは、ショットにより多くの光量を取り込まれるようにカメラのシャッター速度が自動的に調整されます。薄暗いシーンや暗いシーンに最適ですが、カメラが動くハンドヘルドやマウント撮影にはお勧めしません。

写真撮影

画面上のショートカット


写真プリセットには4つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

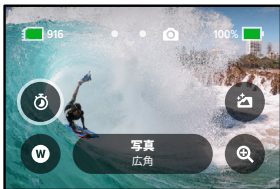
詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ \(36ページ\)](#)」をご参照ください。

注意：「出力」は写真プリセットでのみ初期設定されています。お好みで連写およびナイトモードに設定することもできます。

写真タイマー

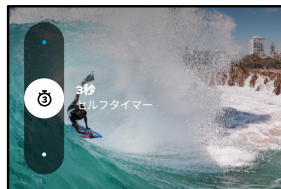
タイマーを使用して、自撮りや集合写真などを撮影します。


1.  をタップします。

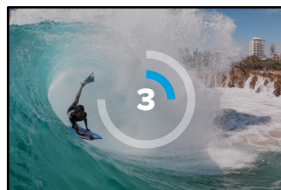


写真撮影

2. 3秒 (自撮り向け) または10秒 (集合写真向け) を選択します。



3. シャッターボタン  を押します。カメラがカウントダウンを開始します。また、電子音が鳴り、前面のステータスライトが点滅します。写真撮影の瞬間が近づくにつれて、電子音とライトの点滅の速度が上がります。



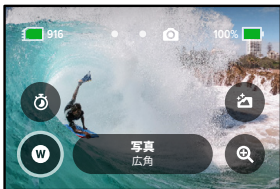
注意：低光量での不鮮明なショットとならないよう、ナイトフォトモードに切り替えるとタイマーは自動的に3秒に設定されます。

写真撮影

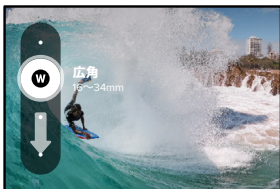
デジタルレンズ

デジタルレンズは、写真の視野角、クロープ、魚眼効果に影響します。交互に切り替えて、ショットに最適なレンズを確認してください。

1. **W** をタップします。



2. オプションをスクロールして各オプションのライブプレビューを確認してから、目的のオプションをタップします。




写真撮影

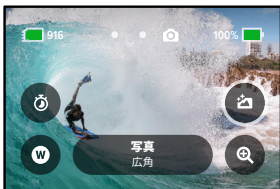
出力

GoProでは、写真の処理および保存方法を指定できます。写真モード（一度に写真を1枚ずつ撮影）ではほとんどのオプションを利用できます。

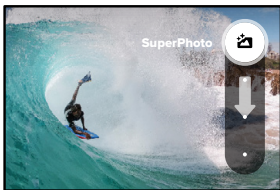
出力	モード	説明
SuperPhoto (初期設定)	写真	高度な画像処理を自動的に使用して、どんな光量でもベストな写真を実現します。各ショットの処理には時間がかかる場合があります。
HDR	写真	複数の写真を1つのショットにまとめます。明るい光と影が混在したシーンのディテールを引き出します。
標準	写真、連写、ナイト	写真を標準の.jpgファイルで保存します。
RAW	写真、連写、ナイト	各写真を.jpgおよび.gprファイルとして保存して、使い慣れた写真編集ソフトで補正することができます。

写真撮影

1.  をタップします。




2. 右側のオプションをスクロールして、使用したいオプションをタップします。

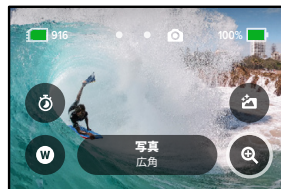


写真撮影

タッチズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。




2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。



3. ズームレベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

GoProテク: 連写、写真タイマー、ズームは、任意に組み合わせることで自分好みの撮影条件が設定できます。

写真の設定

使用可能な写真設定の概要を説明します。 をタップして設定メニューにアクセスし、変更する設定をタップします。



レンズ

撮影に最適なデジタルレンズを、広角またはリアから選択します。右側をスクロールして、それぞれのライブプレビューを確認してから、設定したいレンズをタップします。

詳細については、「[デジタルレンズ \(写真\) \(143ページ〜\)](#)」をご参照ください。

出力 (写真、バースト、ナイト)

画像の処理レベルとファイルの保存方法を設定します。SuperPhoto、HDR、標準、またはRAW形式から選択ができます。

詳細については、以下をご参照ください。

- [SuperPhoto \(140ページ\)](#)
- [ハイダイナミックレンジ \(HDR\) \(140ページ〜\)](#)
- [RAW形式 \(144ページ〜\)](#)

スケジュールキャプチャー

GoProの電源を自動的にオンにして写真を撮影するタイミングを設定します。

写真の設定

タイマー

写真のタイマーを3秒または10秒に設定します。

ズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズームレベルをロックします。

シャッター (ナイト)

夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。

詳細については、「[シャッター速度 \(142ページ\)](#)」をご参照ください。

バーストレート (バースト)

1秒、3秒、6秒、10秒のバースト中に、カメラが連写する写真の枚数を設定します。


詳細については、「[連写レート \(142ページ\)](#)」をご参照ください。

PROTUNE (写真、バースト、ナイト)

Protuneでは、シャッター、ビットレート、カラー、ISO上限、露出などの詳細設定を手動で制御できます。

詳細については、「[Protune \(151ページ〜\)](#)」をご参照ください。


タイムラプスの撮影

タイムラプスは、間隔を開けながらビデオフレームを撮影するモードで、長時間のイベントをシェア可能な短いビデオにしてくれます。このGoProには6つのタイムラプスプリセットが用意されています。シャッターボタン  を押すだけで録画が開始され、もう一度押すと停止します。

TIMEWARP (初期設定)

HERO11 Blackは、撮影者が動いている場合でも、TimeWarp (タイムワープ) ビデオ補正機能を使用して、最高に滑らかなタイムラプスビデオを素早く撮影できます。このプリセットでは、4Kビデオを広角デジタルレンズでとらえながら、撮影速度を自動調節する事により最良の結果をもたらせます。

録画中に画面をタップすると、スピードランプが有効になります。これにより、TimeWarpは実際の速度または半分の速度まで速度が落ちます。画面をもう一度タップすると、元の速度に戻ります。

GoProテク：モードボタン  を使用して、スピードランプを有効にすることもできます。設定メニューの「ショートカット」まで下にスクロールして設定します。

スタートレイル

カメラを安定した台または三脚に取り付けて、夜空に向けてそのままにします。地球の自転に伴い、星々が夜空に光の軌跡を描きます。軌跡の長さは「最大」、「長」、「短」から選択することができます。

ライトペインティング

ライトペインティングは、長時間の露出を使用することにより、動く光によるブラシストロークのエフェクトを創り出します。カメラを安定した台または三脚に取り付け、懐中電灯、ライトスティック、その他の光る物を持ってクリエイティブな撮影に挑戦しましょう。

タイムラプスの撮影

ライトトレイル

カメラを安定した台または三脚に取り付け、夜間の車のヘッドライトが作り出す眩い光跡を撮影します。軌跡の長さを「ショート」、「ロング」、「最長」から選択してください。

タイムラプス

取り付けて静止しているカメラからタイムラプスビデオを撮影する場合は、このプリセットを使用します。夕焼け、街の風景、アートプロジェクトなどの、長時間撮影に最適です。広角デジタルレンズで0.5秒ごとに1回画像をキャプチャーし、解像度4Kのビデオを録画します。

ナイトラプス

ナイトラプスは、光量の少ない暗い場所でタイムラプスビデオを撮影するために用意されたものです。より多くの光量を取り込むようにシャッター速度を自動調節し、最良の結果が得られる間隔を選択します。広角デジタルレンズを用いた4Kビデオが録画されます。ナイトラプスの使用は、カメラが動くハンドヘルドやマウント撮影にはお勧めしません。

GoProテク：HERO11 Blackでも、タイムラプスおよびナイトラプスフォートの撮影ができます。設定にある「形式」に移動し、「写真」を選択するだけです。

タイムラプスの撮影

画面上のショートカット

タイムラプスのプリセットには2つのショートカットが初期設定されていますが、これらは任意のショートカットと置き換えることができます。

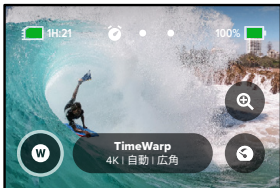
詳細については、「[画面上のショートカットのカスタマイズ \(36ページ\)](#)」をご参照ください。

GoProテク：初期設定されているショートカットは2つだけですが、最大4つまで設定できます。

デジタルレンズ

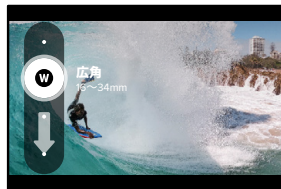
デジタルレンズを切り替えて、ショットの視野角、クロップ、魚眼効果を変更します。

1. **W** をタップします。



タイムラプスの撮影

2. オプションをスクロールして各オプションのライブプレビューを確認してから、目的のオプションをタップします。




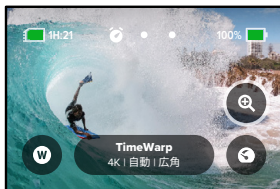
注意：利用できるレンズは、選択したモードによって異なります。

タイムラプスの撮影

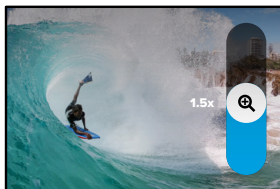
タッチズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。

1.  をタップします。



2. スライダーを使用して、ズームのレベルを選択します。




3. ズームレベルは、再調整するか、撮影モードを切り替えるか、カメラの電源をオフにするまでロックされています。

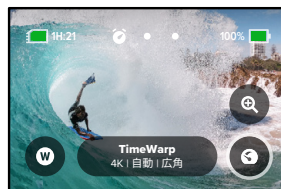
タイムラプスの撮影

スピードランプ (TimeWarp)

タイムワープビデオを1倍速のリアルスピード (30fps) または0.5倍速のハーフスピード (60fps) まで速度を落とすようにスピードランプを設定します。

注意: ハーフスピードは、1080pのコンテンツを撮影する場合に使用できません。

1.  をタップすると、スピードランプがリアルスピード (初期設定) からハーフスピードに切り替わります。

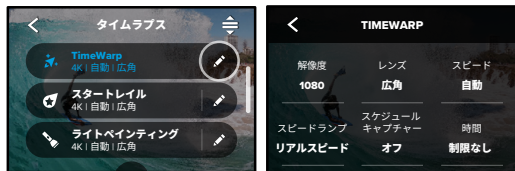


2. 録画中に画面をタップすると、ビデオの速度が低下します。もう一度タップすると、元の速度に戻ります。



タイムラプスの設定

ここではタイムラプスの設定を調整できます。✎をタップしてから変更する設定をタップします。



解像度

解像度 (RES) は、アスペクト比によってグループ化されています。縦の視角度がより多い4:3の解像度 (自撮りやPOVショットに最適) は、最上列に配置されています。ワイドスクリーンの16:9の解像度 (シネマティックなショットに最適) は、最下段に配置されています。

詳細については、以下をご参照ください。

- [ビデオの解像度 \(TimeWarp、タイムラプスビデオ\) \(146ページ\)](#)
- [アスペクト比 \(ビデオ\) \(129ページ\)](#)

レンズ

撮影に最適なデジタルレンズを、広角またはリニアから選択します。右側をスクロールして、それぞれのライブプレビューを確認してから、設定したいレンズをタップします。

注意: 利用できるレンズは、選択したモードによって異なります。

詳細については、「[デジタルレンズ \(写真\) \(143ページ\)](#)」をご参照ください。

タイムラプスの設定

スケジュールキャプチャー

GoProの電源を自動的にオンにして撮影を開始するタイミングを設定します。

時間

カメラが自動的に録画を停止するまでの時間を選択できます。

タイマー

タイムラプスのタイマーを3秒または10秒に設定します。

ズーム

タッチズームを使用すると、アクションのクローズアップ撮影に役立ちます。右側のスライダーを使用して、ズームレベルをロックします。

速度 (TIMEWARP)

ビデオの速度を設定します。短時間のアクティビティ用の低速 (2倍速または5倍速) か、長時間のアクティビティ用の高速 (10倍速、15倍速、または30倍速) を選択します。速度設定を「自動」のままにしておく (初期設定)、動き、シーン検出、光量に基づいてGoProが自動的に速度を調整します。

詳細については、「[タイムワープビデオの速度 \(145ページ\)](#)」をご参照ください。

スピードランプ (TIMEWARP)

選択すると、録画中にタイムワープビデオの速度をリアルスピードまたはハーフスピードまで減速させます。

詳細については、「[タイムワープビデオの速度 \(145ページ\)](#)」をご参照ください。

軌跡の長さ (スタートトレイル、ライトトレイル)

スタートトレイルまたはライトトレイルのプリセットで録画するときは、光の軌跡の長さを設定します。切れ目のない軌跡を撮影するなら「最大」に設定します。他に「長」と「短」を選択できます。

タイムラプスの設定

形式 (タイムラプス、ナイトラプス)

タイムラプスとナイトラプスのビデオ撮影から、タイムラプスとナイトラプスの写真に切り替えます。この写真形式では、設定した間隔で連続した一連の写真を撮影します。これを使用すると、撮影はカメラに任せてアクティビティに集中できます。撮影後に、すべての写真の中からベストショットを探し出すことができます。

間隔 (タイムラプス)

カメラがビデオの1フレームを取り出したり、写真を撮影したりする頻度を選択します。短時間のアクティビティでは短い間隔を使用し、長時間のアクティビティでは長い間隔を使用してください。

詳細については、「[タイムラプスの間隔 \(147ページ\)](#)」をご参照ください。

間隔 (ナイトラプス)

低光量や超低光量の場合に、カメラが写真を撮影する頻度を設定します。動きや光量が多い場合は、短めの間隔を選択します。動きや光がほとんどない場合は、長い間隔を使用します。

詳細については、「[ナイトラプスの間隔 \(28ページ\)](#)」をご参照ください。

出力 (タイムラプスフォト、ナイトラプスフォト)

写真を標準的な.jpgまたはRAWファイルで保存します。

詳細については、「[RAW形式 \(144ページ\)](#)」をご参照ください。

シャッター (ナイトラプス)

夜間の撮影時に、カメラのシャッターを開いたままにする時間を設定します。暗い場所での撮影では長めの露出を選択してください。

詳細については、「[シャッター速度 \(142ページ\)](#)」をご参照ください。



PROTUNE (TIMEWARP、タイムラプスビデオ、ナイトラプスビデオ)

ビデオの詳細設定を手動で制御できます。

詳細については、「[Protune \(151ページ\)](#)」をご参照ください。

ライブストリーミング + ウェブカメラモード

ライブストリーミングの設定

1. GoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quikアプリへの接続 \(92ページ\)](#)」をご参照ください。
2. アプリで  をタップして、カメラを制御します。
3.  をタップして、指示に従ってストリーミングを設定します。

詳しい手順については、gopro.com/live-stream-setupをご参照ください。

GOPROをウェブカメラとして使用する

ライブ配信するには、GoProとパソコンの両方がウェブカメラモードに設定されている必要があります。カメラは初期設定でウェブカメラモードになっています。付属のUSB-Cケーブルを使用してカメラをパソコンに接続し、gopro.com/webcamの手順に従ってセットアップします。

露出コントロール

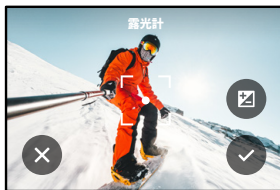
GoProはシーンを全体をスキャンして、撮影の露光レベルを選択します。露出コントロールを使用して、撮影画面から選んだ一領域に合わせた露光量を設定することができます。

タッチスクリーンで映像のプレビューを確認します。暗すぎる部分や明るすぎる部分がある場合は、露出コントロールを試してください。

露出コントロールの設定

例えば晴れた日にスノーボードをしているとき、被写体のジャケットに露出をロックすると良いでしょう。露出ロックを使用すると、非常に明るい雪に反応してショットが露出アンダー（黒つぶれ）になることを防止できます。

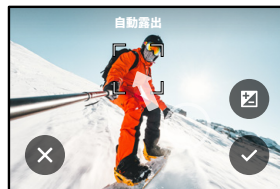
1. 角括弧が表示されるまで、リアタッチスクリーンの任意の場所をタップして押し続けます。露出は角括弧内の領域に基づいて調整されます。




GoProテク：画面の中央をタップして押し続けると、露光計が表示されます。画面中央の露光に基づいて露出を設定します。

露出コントロール

2. 画面の他の領域に角括弧をドラッグすることで露出を変更できます。





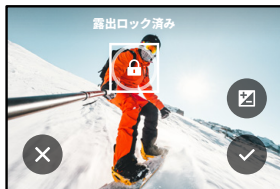
3. 輝度は、 をタップして微調整できます。この手順により、露出値の補正 (EV値) を調整できます。



上にスライドすると、画像が明るくなります。下にスライドすると暗くなります。どちらの方向でも最大2か所の停止位置を調整できます。

露出コントロール

4. 画面をチェックして、露出が適正に見えるかどうかを確認します。角括弧の内側の  をタップして、露出をロックします。  をタップしても、変更をキャンセルできます。



露出コントロール

露出コントロールをオフにする
撮影画面の角括弧をタップすると、露出コントロールがオフになり、カメラが全画面自動露出にリセットされます。




注意：露出コントロール中にEV値を調整した場合でも、露出コントロールをオフにすると、EV値は初期設定に戻されます。詳細については、「[露出値の補正 \(EV値\) \(155ページ\)](#)」をご参照ください。

音声でGoProを操作

音声コントロールを使用すると、GoProをハンズフリーで簡単に操作できます。ハンドルバーやスキーのストックなどで手がふさがっているときに便利です。実行したい操作をGoProに話しかけましょう。

音声コントロールのオン / オフの切り替え

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2.  をタップして音声コントロールをオンまたはオフにします。

音声コントロールでの撮影

音声コントロールをオンにすると、GoProに話しかけるだけで撮影を開始できます。

コマンド	説明
GoPro、撮影	カメラに設定されているモードで撮影を開始します。
GoPro、撮影ストップ	ビデオモードおよびタイムラプスモードでの撮影を停止します。写真および連写モードは自動的に停止します。

GoProテク：「GoPro、撮影」、「GoPro、撮影ストップ」と発声すると、ハンズフリーでシャッターボタン  を押せます。これらの音声コマンドは、その時点のカメラモードと設定で撮影を開始 / 停止します。

音声でGoProを操作

音声コマンドリスト

音声コマンドには次の2種類のコマンドがあります。アクションコマンドおよびモードコマンド。


アクションコマンドの使用

モードを直ちに切り替えることができます。ビデオを録画した直後でも、「GoPro、写真」と言えば、手動によるモードの切り替えなしで写真を撮影することができます。

アクションコマンド	説明
GoPro、ビデオスタート	ビデオの録画を開始します。
GoPro、ハイライト	撮影中にHiLightタグを追加します。
GoPro、ビデオストップ	ビデオ撮影を停止します。
GoPro、写真	写真を1枚撮影します。
GoPro、バースト	連写で写真を撮影します。
GoPro、タイムラプススタート	最後に使用したタイムラプスモードで撮影を開始します。
GoPro、タイムラプスストップ	タイムラプスの撮影を停止します。
GoPro、電源オフ	カメラの電源をオフにします。

音声でGoProを操作


モードコマンドの使用

モードコマンドで、いつでも撮影モードを切り替えることができます。
「GoPro、撮影」と言うか、シャッターボタン  を押して撮影します。

モードコマンド

説明

GoPro、ビデオモード	カメラをビデオモードに切り替えます (録画は 開始しません)。
GoPro、写真モード	カメラを写真モードに切り替えます (撮影は 開始しません)。
GoPro、タイムラプスモード	タイムラプスフォトモードにカメラを切り替えます (タイムラプスフォト撮影は 開始しません)。

GoProテク：ビデオまたはタイムラプスを録画している場合は、新しいコマンドを試す前に、シャッターボタン  を押すか、「GoPro、撮影ストップ」と発声して録画を停止する必要があります。

音声でGoProを操作

カメラのコマンドの完全なリストを参照する

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「音声コントロール」>「コマンド」の順にタップします。

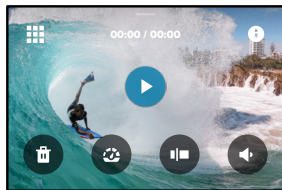
音声コントロールの言語を変更する

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」>「音声コントロール」>「言語」の順にタップします。

注意：音声コントロールは、風、ノイズ、カメラとの距離によって影響を受ける場合があります。最高のパフォーマンスを得るために、カメラをきれいに保ち、ごみを拭き取ります。

メディアの再生

上にスワイプすると、最後に撮影したビデオ、写真、連写のいずれかが表示されます。左または右にスワイプすると、SDカードの他のすべてのファイルが表示できます。



メディアギャラリーには、次の再生オプションが含まれています。

- || 再生を一時停止する
- ▶ 再生を再開する
- ☰ SDカードのすべてのメディアを表示する
- i 撮影に使用されたすべてのモードと設定を表示する
- 🗑️ SDカードからファイルを削除する
- 🔄 スローモーション / 通常速度で再生する
- 🎛️ スライダーを使用してビデオ、連写、タイムラプス写真を閲覧する

メディアの再生

📌 HiLightタグを追加 / 削除する

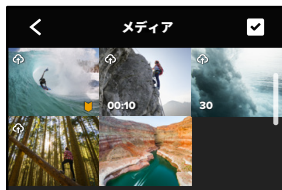
🔊 再生音量を調整する

◀ ▶ 連写または連続写真のグループで前後の写真に移動する

注意：再生オプションは、表示しているメディアのタイプによって異なります。




GoProテク：一部の再生オプションは、カメラを縦向きに持っている場合は使用できません。カメラを回転する前に、横向きでこれらの設定を調整します。

メディアの再生



ギャラリービューの使用



ギャラリービューを使用すると、SDカードに保存されているすべてのビデオと写真にすばやくアクセスできます。

1. 再生画面で  をタップします。
2. 上にスワイプしてメディアをスクロールします。
3. フルスクリーンビューで表示するにはビデオや写真をタップします。
4.  をタップしてファイルを選択します。
5. 再生画面に戻るには、 をタップします。

注意：ギャラリービューは、カメラを縦向きに持っている場合は使用できません。また、SDカードに保存されているコンテンツの数が多いほど読み込みに時間がかかります。

メディアの再生

複数のファイルの削除

1.  をタップします。
2. 削除するすべてのファイルをタップします。ファイルを選択解除するには、ファイルをもう一度タップします。
3. 選択したファイルを削除するには、 をタップします。

モバイルデバイスでビデオ + 写真を見る

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quikアプリへの接続 \(92ページ\)](#)」をご参照ください。
2. アプリケーションのコントロールを使用して、ビデオと写真を再生、編集、共有します。

コンピューターでビデオと写真を見る

コンピューターでメディアを表示するには、最初にファイルをコンピューターに保存する必要があります。詳細については、「[メディアの転送 \(94ページ\)](#)」をご参照ください。

GoProテク：GoPro Quikアプリを使用して、ビデオから静止写真を取り込んだり、長時間のコンテンツから短い共有可能なビデオを作成したり、スマートフォンにメディアを保存したりできます。

GoPro Quikアプリへの接続

GOPRO QUIKアプリへの接続

GoPro Quikアプリを使用して、GoProを制御し、外出先でビデオや写真を共有したり、コンテンツを効果や音楽と同期させたビデオストーリーに自動変換したりできます。

初回の接続

1. AppleのApp StoreまたはGoogle PlayからGoPro Quikアプリをダウンロードします。
2. 画面上の指示に従いカメラに接続します。

iOSに関する注意: プロンプトが表示されたら、GoPro Quikアプリからの通知を許可して、ビデオが使用できるようになっていることを確認します。詳細については、「[ビデオストーリーの作成 \(94ページ\)](#)」をご参照ください。

2回目以降の接続

1回接続すれば、カメラの「接続」メニューから接続を開始できます。

1. カメラのワイヤレス接続がオンになっていない場合は、リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「接続」 > 「デバイスの接続」の順にタップします。
3. GoPro Quikアプリの画面の指示に従って接続します。

GoPro Quikアプリへの接続

接続速度の設定

他のモバイル機器と接続する場合、GoProは5GHzのWi-Fi帯域 (最高速) を使用するように設定されています。

デバイスまたは地域が5GHzをサポートしていない場合は、Wi-Fi帯域を2.4GHzに変更します。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「接続」 > 「Wi-Fi帯域」の順にタップします。

メディアの転送

ビデオストーリーの作成

ビデオや写真を自動的にスマートフォンに送信するようにGoProを設定できます。GoPro Quikアプリでは、これらの設定を使用して、音楽や効果付きの完全編集されたビデオストーリーを作成します。

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quikアプリへの接続 \(92ページ\)](#)」をご参照ください。
2. アプリのホーム画面で下にスワイプします。直近のセッションからのショットがスマートフォンにコピーされ、完全編集されたビデオに変換されます。
3. ビデオをタップして表示します。
4. 必要な編集を行います。
5. ストーリーを保存するか、友人や家族、フォロワーと共有することができます。

最高のショットを見つけるには

最高のショットには忘れずにHiLight (ハイライト) タグをつけましょう。GoPro Quikアプリは、ビデオを作成するときにタグを自動検索します。このため、お気に入りの場面がストーリーに含まれるようになります。

GoProも、カメラに顔を向けたり、笑ったりする動作を検知します。これらのショットのデータに自動でタグ付けされるため、アプリでビデオに適したショットを選び出すことができます。

詳細については、「[HiLightタグの追加 \(48ページ\)](#)」をご参照ください。

メディアの転送

有線接続でスマートフォンに転送する

ビデオや写真の転送に、適切なケーブル / アダプター (別売) を使用して、GoProをスマートフォンに接続します。

1. 適切なケーブル / アダプター (別売) を使用して、GoProをスマートフォンに接続します。
2. スマートフォンでGoPro Quikアプリを起動し、画面の指示に従います。

携帯電話	ケーブルまたはアダプターが必要です。
Android	標準的なUSB-C — USB-C
USB-Cポート搭載のiOSデバイス	標準的なUSB-C — USB-C
Lightningポート搭載のiOSデバイス	標準的なUSB-A — USB-CおよびApple Lightning — USBカメラアダプター

コンピューターへの転送


SDカードからコンピューターにメディアをコピーすれば、コンピューター上で再生や編集ができます。

1. カメラからSDカードを取り外します。
2. カードをSDカードリーダーまたはアダプターに挿入します。
3. カードリーダーをコンピューターのUSBポートに接続するか、アダプターをSDカードスロットに挿入します。
4. ファイルをコンピューターにコピーします。

メディアの転送

クラウドへの自動アップロード

GoProサブスクリプションを使用すると、メディアをクラウドに自動的にアップロードし、任意のデバイスから表示、編集、共有できます。

1. gopro.com/subscribeまたはGoPro Quikアプリで、GoProサブスクリプションを契約します。
2. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「[GoPro Quikアプリへの接続 \(92 ページ\)](#)」をご参照ください。
3. カメラ選択画面で、 をタップします。
4. カメラを電源に接続します。アップロードが自動的に開始されます。一旦設定すると、自動アップロードを開始するためにカメラをアプリに接続する必要はありません。

注意：オリジナルファイルは、クラウドにバックアップされた後でも、カメラに残っています。


手動クラウドアップロードに切り替える

メディアは、好きなときに手動でクラウドへアップロードすることもできます (GoProを電源コンセントに接続し、自動アップロードをオフにする必要があります)。

1. カメラを電源に接続します。
2. 下にスワイプしてダッシュボードにアクセスします。
3. 「ユーザー設定」 > 「自動アップロード」 > 「手動アップロード」をタップします。

メディアの転送

クラウドメディアへのアクセス

1. デバイスでGoPro Quikアプリを開きます。
2.  をタップし、「クラウド」を選択して、コンテンツの表示、編集、共有を行います。

GoProテク：クラウドメディアを使用して、GoPro Quikアプリでビデオストーリーを作成します。新しいストーリーを作り始めるときは、「クラウドメディア」を選択するだけです。

オートクリア

メディアがクラウドに安全にアップロードされた後、自動的にカメラのSDカードからすべてのメディアが削除されるように設定することができます。その結果、次回GoProを使用するときにSDカードに新しい写真やビデオを保存するための容量を確保することができます。

次回カメラをクラウドバックアップに接続すると、SDカード内の新しい写真やビデオが自動アップロード時に認識されます。新しいファイルのみがクラウドに保存され、SDカードから削除されます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 「ユーザー設定」 > 「自動アップロード」 > 「オートクリア」をタップします。

注意：「ユーザー設定」で「オートクリア」をオンしていない場合は、クラウドへのアップロードが終了した後にSDカード内のメディアを削除するかどうかを尋ねられます。

メディアの転送

自動アップロードのオフ

カメラが電源コンセントに接続されるか、フル充電されるたびにアップロードを行うのを停止します。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「接続」 > 「GoProサブスクリプション」 > 「自動アップロード」の順にタップします。
3. 「オフ」をタップします。

別のワイヤレスネットワークへの接続

1. カメラをGoPro Quikアプリに接続します。詳細については、「GoPro Quikアプリへの接続(92ページ)」をご参照ください。
2. 接続したら、アプリの「自動アップロードの管理」をタップします。
3. アプリで「Wi-Fiネットワーク」をタップします。
4. Wi-Fiネットワークを選択します。
5. Wi-Fiのパスワードを入力します。
6. 「接続」をタップします。

GOPROサブスクリプションのユーザー設定の変更

自動アップロードの設定の管理、ワイヤレスネットワークの設定などを行います。

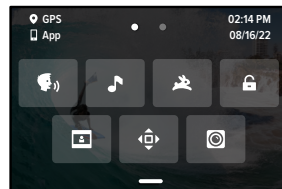
1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「接続」 > 「GoProサブスクリプション」の順にタップします。

注意:GoProサブスクリプションは、サインアップ後に、ユーザー設定で利用可能になります。

ユーザー設定

ダッシュボードの使用

カメラを横向きにして、リアスクリーンを下にスワイプすることでダッシュボードにアクセスできます。



ダッシュボードの機能

ダッシュボードでは、次の設定をタップしてオンとオフを簡単に切り替えることができます。

	ボイスコントロール		フロントスクリーン設定
	カメラの電子音		方向ロック
	QuikCapture (クイックキャプチャー)		Maxレンズ モジュラーモード
	画面ロック		

ユーザー設定

リアスクリーンを下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、左にスワイプしてGoProのユーザー設定にアクセスします。



ワイヤレス接続

GoProをGoPro Quikアプリに接続し、Wi-Fi帯域などを選択します。

ワイヤレス接続

カメラのワイヤレス接続のオンとオフを切り替えます。

デバイスの接続

選択すると、GoPro QuikアプリまたはThe Remote (ザ リモート) に接続します。

詳細については、「[GoPro Quikアプリへの接続 \(92ページ\)](#)」をご参照ください。

カメラ情報

カメラの名前とパスワードを表示します。

Wi-Fi帯域

接続速度として5GHzまたは2.4GHzを選択します。スマートフォンおよび地域が対応している場合のみ、5GHzを設定します。

詳細については、「[接続速度の設定 \(93ページ\)](#)」をご参照ください。

接続のリセット

デバイスへのすべての接続をクリアし、カメラのパスワードをリセットします。リセットしたら、各デバイスを再接続する必要があります。

ユーザー設定



一般

「一般」設定には、次の設定があります。


電子音のボリューム

高、中 (初期設定)、低、またはミュートを選択します。ここで設定したボリュームは、ダッシュボードでオンまたはオフに切り替えることができます。

QuikCapture

QuikCaptureは、初期設定ではオンになっています。ここでオフにできません。ダッシュボードを使用して、オンまたはオフに切り替えることもできます。

初期設定プリセット

モードボタン  を使ってGoProの電源を入れた場合に、GoPro撮影のプリセットを設定します。この設定は、QuikCaptureには影響しません。

電源の自動オフ

5分、15分 (初期設定)、30分、または「なし」を選択します。

LED

点滅させるステータスライトを設定します。「すべてオン」 (初期設定)、「すべてオフ」、「フロントのみオフ」から選択できます。

アンチフリッカー

テレビで録画と再生をする際の地域のフレームレートを選択します。北米や日本の場合は、60Hz (NTSC) に設定します。NTSC方式以外の場合は50Hz (PAL) をお試しください。地域に適した形式を選択すると、屋内で録画されたビデオを再生したときにTV/HDTVでのちらつきを防ぐことができます。

ユーザー設定

時刻と日付

時刻と日付を手動で調整するために使用します。カメラをGoProアプリに接続すると、どちらも自動的に更新されます。

日付形式

セットアップ時に選択した言語に基づいて自動的に設定されます。手動で変更することもできます。

タイムゾーン

カメラのタイムゾーンを設定します。

夏時間

現在夏時間を実施している地域に在住している場合は、夏時間をオンにします。カメラの時計が1時間進みます。夏時間が終了したら、夏時間をオフにして標準時に戻します。

ユーザー設定



音声コントロール

音声コントロール設定を選択したり、使用できるすべてのコマンドを表示します。

音声コントロール

音声コントロールをオンまたはオフにします。ダッシュボードを使用して、オンまたはオフに切り替えることもできます。

言語

音声コントロールの言語を選択します。

コマンド

音声コマンドの完全なリストが表示されます。

詳細については、「[音声でGoProを操作 \(84ページ\)](#)」をご参照ください。

ユーザー設定



ディスプレイ

方向を調整したり、スクリーンセーバーを設定したり、明るさを調整したりします。

方向

カメラを回転させたときに、画面の天地が正しい向きに保たれます。

詳細については、「[画面の向きの設定 \(49ページ\)](#)」をご参照ください。

スクリーンセーバー (リア)

リアスクリーンセーバーを1分、2分 (初期設定)、3分、5分のいずれかに設定します。「なし」を選択すると、画面がオンのままになります。

注意: カメラのボタンと音声コントロールは、画面がオフになっていても作動します。

スクリーンセーバー (フロント)

フロントスクリーンセーバーを1分、2分 (初期設定)、3分、5分のいずれかに設定します。「なし」を選択するか、「背面画面に一致」 (初期設定) を選択してリアスクリーンセーバーと同期することも可能です。

明るさ

スライダーを使用して、画面の明るさを調整します。

ユーザー設定



言語

GPSをオンにし、言語を選択して、カメラのすべての規制情報を表示します。

GPS

GPSをオンにして、ユーザーの動く速度や距離などを追跡します。GoPro Quikアプリでデータオーバーレイを追加し、ビデオにユーザーの動く速度、距離、高さを表示します。詳細およびモバイルデバイスとの互換性については、gopro.com/telemetryをご参照ください。

言語

カメラに表示する言語を選択します。



モジュラー

HERO11 Blackモジュラーで以下の設定を使用します。

Maxレンズモジュラー

カメラのダッシュボードにMax (マックス) レンズモジュラーのコントロールを追加します。

メディアモジュラー

メディアモジュラーに接続する外部マイクの種類を選択します。

ユーザー設定



バージョン情報

GoProを更新し、カメラの名前、シリアル番号、バッテリーの状態、およびソフトウェアバージョンを確認します。

GoProの更新

カメラのソフトウェアを更新して、最新の機能とパフォーマンスのアップグレードを適用します。

カメラ情報

カメラの名前、シリアル番号、およびカメラが使用しているソフトウェアバージョンを確認します。

バッテリー情報

ここからバッテリーの状態を確認します。必ずGoPro Enduroバッテリーを使用してください。古いGoProバッテリーやGoPro以外のバッテリーを使用すると、カメラのパフォーマンスが大幅に制限される可能性があります。



規制

GoProの認定書を表示します。

ユーザー設定



リセット

SDカードをフォーマット、またはカメラの設定をリセットします。

SDカードをフォーマット

SDカードを再フォーマットします。フォーマットするとメディアがすべて消去されます。再フォーマット前に必ず保存してください。

プリセットのリセット

あらかじめ組み込まれているプリセットをオリジナルの設定にリセットし、すべてのカスタムプリセットを削除します。

カメラヒントのリセット

すべてのカメラのヒントを最初から表示します。

出荷時リセット

カメラの設定をすべて復元し、すべての接続をクリアします。

重要なメッセージ

問題が発生することはまれですが、問題が発生した場合は、GoProからユーザーに通知されます。表示されるメッセージの一部を次に示します。



カメラの温度が高すぎます

カメラの温度が高くなり、冷却が必要になると、タッチスクリーンに温度警告アイコンが表示されます。カメラはオーバーヒートのリスクがある状況を認識するように設計されており、必要に応じてシャットダウンされます。この場合は、カメラをそのまま放置し、冷却してから使用してください。

注意：HERO11 Blackの動作周囲温度範囲は-10°C～35°C、充電温度は0°C～35°Cです。高温になると、カメラの電力消費量が増えて、バッテリーの消耗が速くなります。

GoProテク：特に気温が高い環境では、高解像度や高フレームレートでビデオを撮影すると、カメラはより早く高温になります。低解像度および低フレームレートに切り替えて、GoProのオーバーヒートのリスクを低減しましょう。

SDカードエラー

ご利用のGoProは、SDカードのさまざまな問題を検出することができます。問題の原因としては、静電気放電が考えられますが、放電の原因とは限りません。このような場合は、カメラを再起動してください。破損したファイルは自動的に修復され、完全に機能できるようにカメラは復元されます。

重要なメッセージ



ファイルの復旧

GoProは、破損したファイルを自動的に修復しようとします。録画中にカメラの電源が切れた場合、またはファイルの保存中に問題が発生した場合に、ファイルが破損することがあります。修復中は、ファイル復旧アイコンがタッチスクリーンに表示されます。処理が終了してファイルが修復されると、カメラから通知されます。

SDカードがいっぱいです

SDカードがいっぱいになると、カメラから通知されます。録画を継続するには、一部のファイルを移動または削除する必要があります。

SDカードの規格


カメラを最適に機能させるには、V30、UHS-3以上のSDカードが必要です。カードの評価がV30/UHS-3以下である場合、またはカードが時間の経過とともに劣化し、規格に準拠した機能を発揮できない場合、カメラの反応によってそれがわかります。

バッテリー残量低、電源をオフにしています

バッテリーの残量が10%を下回ると、タッチスクリーンにバッテリー残量の低下を示すメッセージが表示されます。ビデオの録画中にバッテリーが切れた場合は、録画が停止しビデオが保存されてから、電源がオフになります。

カメラのリセット

GOPROの再起動

カメラが応答していない場合は、モードボタン  を10秒間押し続けます。これでカメラが再起動します。設定は変更されません。

プリセットを初期設定に戻す

カメラの元のプリセット設定をすべて初期設定にリセットします。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「プリセットのリセット」の順にタップします。

注意：カメラの元のプリセット設定を初期設定に戻すと、カスタムプリセットが消去されます。

接続のリセット

デバイスの接続をクリアし、カメラのパスワードをリセットします。接続をリセットすると、お使いのすべてのデバイスで再接続が必要になります。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「接続」 > 「接続のリセット」の順にタップします。

カメラのヒントのリセット

カメラのヒントをもう一度表示したい場合は、次の方法で最初からすべて表示することができます。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして、「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「カメラヒントのリセット」の順にタップします。

カメラのリセット

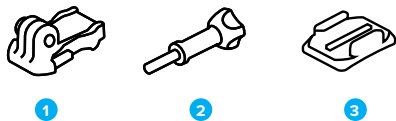
工場出荷時の設定に戻す

カメラの元の設定をすべて復元し、すべてのデバイス接続をクリアして、GoProサブスクリプションからカメラの登録を解除します。これは、人にカメラを譲る場合や、オリジナルの状態に完全に戻したい場合に便利です。

1. リアスクリーンを下にスワイプして、ダッシュボードにアクセスします。
2. 左にスワイプして「ユーザー設定」 > 「リセット」 > 「出荷時リセット」の順にタップします。

注意：出荷時の設定を復元しても、SDカードからコンテンツが削除されたり、カメラのソフトウェアに影響を与えたりすることはありません。

GoProのマウント方法



マウント用取付具

1. マウント用バックル
2. サムスクリュー
3. 粘着性ベースマウント (曲面)

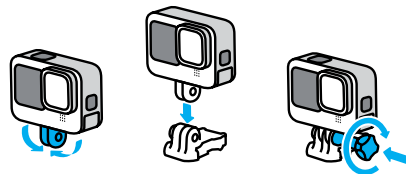
GoProのマウント方法

マウントフィンガーの使用

使用するマウントに応じて、マウント用バックルを使用するか、GoProを直接マウント自体に取り付けます。

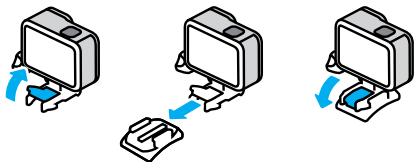
粘着性ベースマウントの使用に関するヒントについては、「[粘着性ベースマウントの使用 \(115ページ\)](#)」をご参照ください。

1. 折り畳み式フィンガーをマウント位置に押し下げます。
2. カメラのフォールディングフィンガーを、バックルのマウントフィンガーと組み合わせます。
3. サムスクリューを使用して、カメラをマウント用バックルに固定します。



GoProのマウント方法

4. マウント用バックルをマウントに取り付けます。
 - a. マウント用バックルプラグをはね上げます。
 - b. カチッと音がして固定されるまでバックルをマウント側にスライドさせます。
 - c. プラグを押し込んでバックルと同じ高さになるようにします。



GoProのマウント方法

粘着性ベースマウントの使用

ヘルメット、車両、およびギアに粘着性ベースマウントを取り付けるときには、次のガイドラインに従ってください。

- 使用する24時間以上前にマウントを取り付けます。
- マウントは必ず滑らかな面に取り付けてください。凹凸やざらざらした表面には、きちんと貼り付きません。
- マウントを押し、しっかりと取り付けます。接着剤が表面に完全に接触していることを確認します。
- 必ず清潔で乾燥した面で使用してください。ワックスや脂分、汚れ、ほこりなどがあると、接着が弱まり、カメラを紛失する可能性があります。
- 湿度が低い、室温の環境でマウントを取り付けます。低温または湿度の高い環境や、低温または湿気のある表面には、適切に貼り付きません。
- 機器（狩猟用の装備）などにカメラを取り付けることが許可されているかどうか、国や自治体の法律および規制を確認してください。家電やカメラの使用を規定する法律に常に準拠してください。



警告：思いがけない負傷を避けるために、カメラをヘルメットにマウントする際には流れ止めコードを使用しないでください。スキーやスノーボードに直接カメラを取り付けしないでください。

マウントの詳細については、gopro.comをご参照ください。

GoProのマウント方法

警告: GoProヘルメットマウントまたはストラップを使用する場合は、常に該当する安全規格を満たしているヘルメットを使用してください。



実施するスポーツまたはアクティビティに適したヘルメットを選択し、ヘルメットが使用者に適したサイズでフィットしていることを必ず確認してください。ヘルメットが正常な状態であることを確認し、製造元の安全な使用に関する指示に必ず従ってください。

大きな衝撃を受けたヘルメットは交換してください。すべての事故で負傷から保護できるヘルメットはありません。安全を維持してください。

水中および水辺でのGOPROの使用

GoProは、ドアがロックされた状態であれば10mの防水性能を発揮します。飛び込む前に、別途ハウジングを取り付ける必要はありません。

タッチスクリーンは、濡れていても使用できるよう設計されていますが、コマンドの認識に問題が生じた場合は水を拭き取る必要があります。タッチスクリーンは水中では動作しませんが、水中でもカメラのボタンを使用してメニューを操作することができます。

詳細については、「[ボタンによるナビゲート \(28ページ\)](#)」をご参照ください。

GoProテク: 流れ止めコードとFloaty (フロアティ) (別売) を使用して、カメラがマウントから外れても浮いているようにしてください。

水深60mなどの環境では、別売の保護ハウジング (HERO11 Black) を使用してください。

カメラの流れ止めコード、Floaty、および保護ハウジングの詳細については、[gopro.com](#)をご参照ください。

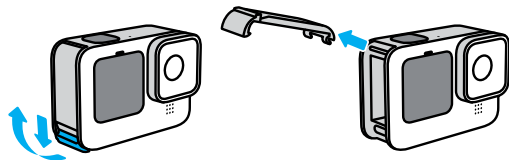
ドアの取り外し

場合によっては、カメラのドアを取り外す必要があります。

注: ドアは乾燥した、ほこりのない環境でのみ取り外します。ドアが開いていたり外されていたりする状態のカメラに防水性能はありません。

ドアの取り外し

1. ラッチのロックを解除し、ドアを開けます。
2. ドアを水平にした状態で、カチッと音がするまで外側にゆっくりと引きます。

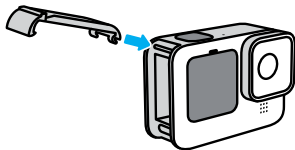


警告: ドアを外した状態でGoProを使用しないでください。使用中にバッテリーが外れてしまう可能性があります。

ドアの取り外し

ドアの取り付け

1. ドアを小さな銀色のバーに合わせます。
2. 所定の位置にはめ込まれ、しっかりと固定されるまで、ドアを小さな銀色のバーにしっかりと押し込みます。



警告: このカメラのドアは着脱式です。ドアを閉じた後、ドアがしっかりとロックされ、密閉されていることを確認してください。

メンテナンス

カメラの性能を最大限に引き出すには、次のヒントを参考にしてください。

- GoProはハウジングなしで、水深10mまでの防水性能を備えています。水や土、砂の中で使用する場合は、ドアを必ず閉じてください。
- ドアを閉じる前に、シール部分にチリやゴミがついていないことを確認します。必要に応じて、布を使用してシールを洗浄します。
- ドアを開ける前に、GoProが清潔で乾燥していることを確認してください。必要であれば、カメラに真水をかけてすぎ、布で完全に水分を拭き取ります。
- ドアの周囲に砂や泥などがこびりついている場合は、カメラをぬるま湯に15分ほど浸して、その後十分にすすいで砂や泥を完全に除去してください。ドアを開ける前に、カメラが濡れていないことを確認してください。
- 最高のオーディオ性能を引き出すためには、カメラを振るか、マイクの挿入口に息を吹きかけて、挿入口に入った水や泥を取り除きます。マイクの挿入口から圧縮した空気を吹き込まないでください。内部の防水メンブレンを破損させる可能性があります。
- 塩水が付着した場合は、その都度必ずカメラを水ですすぎ、柔らかい布で拭いてください。
- レンズカバーは、非常に丈夫な強化ガラスで作られています。それでも傷やひびができる場合があります。柔らかく、糸くずの出ない布で拭いてください。
- ゴミがレンズとトリムリングの間に詰まっている場合は、水や空気を取り除きます。レンズ周りに異物が入らないようにしてください。

バッテリーの情報

バッテリー駆動時間を最大限に延ばす
次のような方法で、バッテリー駆動時間を最大限に延ばすことができます。

- 低いフレームレートと解像度でビデオを録画する。
- スクリーンセーバーを使用したりスクリーンを明るさを下げる。
- フロントスクリーンをオフにする。
- GPSをオフにする。
- ワイヤレス接続をオフにする。
- 次の設定を使用する。
 - [QuikCaptureの使用 \(47ページ\)](#)
 - [電源の自動オフ \(101ページ\)](#)

電源接続時の撮影

カメラに同梱されているUSB-Cケーブルを使用して、カメラをUSB式の充電アダプター、GoPro Supercharger、またはその他の外部電源に接続した状態で、ビデオや写真を撮影できます。これは、長いビデオやタイムラプスイベントを撮影するのに最適です。

録画中は、SDカードスロットの周辺に触れないように注意してください。SDカードに触れると、録画が中断または停止される可能性があります。この問題が発生した場合は、カメラでメッセージが表示されます。このような不具合が発生した場合でも、コンテンツの破損または消失はありません。ただし、続行するには、カメラを再起動しなければならない場合があります。

カメラを充電している場合でも、録画中にはバッテリーは充電されません。録画を停止すると、充電が開始されます。カメラをコンピューターに接続している場合は、録画できません。

バッテリーの情報

注意：充電中はドアが開いているため、カメラは防水ではなくなります。

GoProテク：USBパススルードア (別売) を使用すると、全天候型というカメラの特性が維持され、外部電源に接続する場合でもバッテリーを所定の位置に保持できます。



警告：GoPro製以外のACチャージャーまたは電源ケーブルを使用すると、カメラのバッテリーが破損し、火災や液漏れが発生する恐れがあります。GoPro Supercharger (別売) 以外では、「出力 5V 1A」と記された充電器のみを使用してください。充電器の電圧と電流が不明の場合は、付属のUSB-Cケーブルを使用して、カメラをコンピューターに接続して充電してください。

バッテリーの保管および取り扱い

GoProには、バッテリーなどの精密部品が多く含まれています。本機を極端な低温や高温にさらさないでください。極端な温度の環境では、バッテリー駆動時間が一時的に短くなったり、カメラが一時的に正常に作動しなくなったりすることがあります。温度や湿度が急激に変化する環境では使用しないでください。製品の内部 / 外部に結露が発生する可能性があります。

カメラを乾燥させる際に、電子レンジやヘアドライヤーなどの外部熱源を使用しないでください。カメラ内部での水や液体への接触によってカメラやバッテリーが破損した場合は、保証の対象となりませんのでご注意ください。

貨幣や鍵、ネックレスなどの金属と一緒にバッテリーを保管しないでください。バッテリーの接触子が金属に触れると、火災が発生する可能性があります。

バッテリーの情報

許可されていない改造をカメラに加えないでください。許可されていない改造を行うと、安全や法令に関するコンプライアンスに抵触したり、あるいはシステムのパフォーマンスを損なう恐れがあるため、保証の対象外となります。

注意：低温環境下では、バッテリー容量が低下します。古いバッテリーになるほどこの影響は大きくなります。定期的に低温下で撮影を行う場合は、最適なパフォーマンスを維持するため、1年に1回バッテリーを交換してください。

GoProテク：バッテリー駆動時間を最大限に延ばすために、収納する前にカメラをフル充電してください。



警告：カメラまたはバッテリーの投下、分解、開放、破碎、折り曲げ、変形、穿刺、裁断、電子レンジによる加熱、焼却、塗装などを行わないでください。USB-Cポートなど、カメラの開閉口に異物を入れないでください。亀裂ができた、穴が開いていたり、水没したりしたことが原因で破損したカメラは使用しないでください。バッテリーを分解したり、穴を開けたりすると、破裂や火災の原因になることがあります。

バッテリーの情報

バッテリーの廃棄

ほとんどの充電式リチウムイオンバッテリーは、無害廃棄物に分類され、自治体の通常の廃棄物として処理することができます。多くの地域では、バッテリーをリサイクルするよう求められます。お住まいの地域の規制を調べ、通常のごみと一緒に充電式バッテリーが廃棄できるかどうかご確認ください。リチウムイオンバッテリーを安全に廃棄するために、接触子が他の金属に触れないよう、梱包、マスキング、絶縁用テープなどで適切に処理し、輸送中に火災が発生しないようにしてください。

ただし、リチウムイオンバッテリーにはリサイクル可能な材料が含まれており、リチャージャブルバッテリーリサイクリングコーポレーション (RBRC) のバッテリーリサイクリングプログラムでもリサイクル受け入れ対象となっています。北米のお客様はCall2Recycle (call2recycle.org) にアクセスするか、1-800-BATTERY(に電話) に問い合わせ、最寄りのリサイクル場を確認することをお勧めします。

バッテリーは火に投げると爆発する恐れがあるため、火のあるところには絶対に捨てないでください。



警告：GoPro交換用バッテリー、電源ケーブル、バッテリー充電用アクセサリ、デバイスは、カメラでのみ使用してください。

古いGoProバッテリーやGoPro以外のバッテリーを使用すると、カメラのパフォーマンスが大幅に制限される可能性があります。さらに保証の失効、火災、感電、その他の安全上のリスクが生じる可能性もあります。

トラブルシューティング

GOPROの電源が入らない

GoProが充電されているか確認してください。「SDカードとバッテリーのセットアップ (10ページ)」をご参照ください。バッテリーを充電しても解決しない場合は、カメラを再起動してみてください。「GoProの再起動 (110ページ)」をご参照ください。

ボタンを押してもGOPROが応答しない

「GoProの再起動 (110ページ)」をご参照ください。

コンピューターで再生した映像が途切れる

コンピューターで再生時の映像が途切れるのは、通常の場合ファイルの問題ではありません。映像がスキップされる場合は、原因として次のいずれかが考えられます。

- コンピューターがHEVCファイルをサポートしていない。
gopro.com/appsで、Mac用またはWindows用GoProプレーヤー (無料)の最新バージョンをダウンロードしてください。
- お使いのコンピューターが、再生に使用しているソフトウェアの最小要件を満たしていない。

トラブルシューティング

カメラのユーザー名またはパスワードを忘れた場合

リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、左にスワイプして「ユーザー設定」>「接続」>「カメラ情報」をタップします。

ソフトウェアのバージョンが不明な場合

リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、左にスワイプして「ユーザー設定」>「バージョン情報」>「カメラ情報」をタップします。

カメラのシリアル番号が見つからない

シリアル番号は、カメラのバッテリー収納部の内側に刻印されています。また、リアスクリーンで下にスワイプしてダッシュボードにアクセスし、さらに左にスワイプして「ユーザー設定」>「バージョン情報」>「カメラ情報」の順にタップしても確認できます。

よくある質問の他の回答については、gopro.com/helpをご参照ください。

仕様：ビデオ

ビデオの解像度 (RES)

ビデオの解像度は、ビデオの各フレーム内の水平ラインの数を指します。1080pビデオは1,080本の水平線で構成されています。5.3Kビデオは、5,312本の水平線で構成されています。ラインが多いほど解像度が高くなるので、5.3Kは1080p以上の鮮明な画像を提供することができます。

ビデオの解像度	説明
5.3K	広角でアスペクト比16:9の驚異的なウルトラHDビデオを撮影する超高解像度ビデオです。15.8MPの静止画をビデオから取得することができます。
5.3K 4:3	アスペクト比4:3より縦長のシーンを撮影する超高解像度ビデオです。POV映像や、ビデオから21MPの静止画を取り込むのに最適です。
5.3K 8:7	横幅・縦幅ともにHEROカメラ史上最大の視野角で撮影する超高解像度ビデオです。ズームインしても映像の豊かな質感と鮮明さが維持され、24.7MPの静止画をビデオから取り込むことができます。
4K 4:3	縦幅が増すアスペクト比4:3のウルトラHDビデオは、16:9のショットより広い視野角で撮影することができます。12MPの静止画をビデオから取り込むことができます。
4K	アスペクト比16:9のウルトラHDビデオ。三脚や固定位置での撮影に最適です。8MPの静止画をビデオから取得することができます。

仕様：ビデオ

ビデオの解像度	説明
4K 8:7	縦と横に広いアスペクト比8:7で、ウルトラHDビデオを撮影します。臨場感あふれるPOV映像の撮影に最適で、録画後にデジタルレンズの交換、ショットのクロップ、アスペクト比の調整を行うことができます。12.9MPの静止画をビデオから取り込むことができます。
2.7K 4:3	ボディやギアに搭載された主観的な高解像度のショットを、滑らかなスローモーションで再生するのに最適です。
2.7K	16:9の高解像度のビデオ。プロ仕様の制作用として迫力ある映画品質の映像を実現します。
1080p	あらゆるショットやソーシャルメディアサイトでの共有に最適な標準的なHDTV解像度。240fpsや120fpsの高フレームレートオプションにより、編集時にスーパースローモーションを利用できます。

仕様：ビデオ

フレーム/秒 (FPS)

フレーム/秒とは、ビデオで1秒あたりに撮影されるフレーム数を表します。速い動きの撮影には、高いFPS値 (60、120、240) が適しています。高fpsの映像はスローモーション再生に使用することもできます。

スローモーション + FPS

標準速度のビデオは、通常は30fpsで録画・再生されます。そのため、60fpsで撮影されたビデオは2倍のスローモーション (1/2の速度) で再生できます。さらに、120fpsで録画すれば4倍のスローモーション (1/4の速度) で、240fpsで録画すれば8倍のスローモーション (1/8の速度) で再生できます。

高いfpsで録画されたビデオほど、スローモーションで見るときに動きが滑らかになり、細部までくっきりと映し出されます。

解像度 + FPS

ビデオの解像度は高いほど、より細部までくっきりとした映像を撮影できますが、利用できるfps値は一般的に低くなります。

ビデオ解像度を低くすると、映像は鮮明ではなくなりますが、高いfps値で撮影できます。

解像度 | FPS画面で解像度を選択すると、選択した解像度で使用できるすべてのフレームレートが白で表示されます。使用できないフレームレートはグレーで表示されます。

仕様：ビデオ

アスペクト比 (ビデオ)

アスペクト比は、画像の幅と高さを表します。GoProは、3つのアスペクト比でビデオと写真を撮影します。

8:7

この非常に臨場感あふれる形式は、横幅・縦幅ともにHEROカメラ史上最大の視野角で、より広い範囲が画面に収まります。映像の任意の部分にズームインして焦点を合わせ、アクションを高解像度で、あらゆるアスペクト比で抜き出すことができ、GoPro Quik (クイック) アプリまたはその他の編集ソフトウェアを使用すればショットの残りをクロップすることができます。解像度8:7が、解像度 | FPS画面の最上行に表示されます。

4:3

縦長の4:3形式では、16:9のワイドスクリーン形式よりも多くを画面に収めることができます。セルフイーやPOV映像を撮影するのに適しています。解像度4:3が、解像度 | FPS画面の最上行に表示されます。

16:9

HDTVや編集プログラム用の標準的な形式です。ワイドスクリーン形式は、シネマティックで印象的なコンテンツを撮影するのに最適です。解像度16:9が、解像度 | FPS画面の解像度4:3の下に表示されます。

注意: HDTVで4:3および8:7の映像を再生すると、画面の両側に黒いバーが表示されます。

仕様：ビデオ

デジタルレンズ (ビデオ)

デジタルレンズによって、カメラが捉えるシーンの広さが異なります。レンズの種類は、ショットのズームレベルや魚眼効果にも影響します。

デジタルレンズ	説明
HyperView (16mm)	縦幅と横幅が最も広い視野角で、最高に臨場感あふれる16:9ビデオを実現します。 注意：HyperViewは8:7の映像を16:9画面に合わせます。そのため、魚眼効果による最高に臨場感あふれる映像を撮影できます。普通の録画よりもPOVアクションスポーツ撮影に向いています。
SuperView (16mm)	縦長のアスペクト比4:3の映像を、臨場感あふれる16:9ビデオとして提供します。
広角 (16~34mm)	フレーム内にできるだけ広い範囲を収める広い視野角。
リニア + 水平ロック / 水平維持 (19~33mm)	HyperViewやSuperView、広角での魚眼効果のない広い視野角で撮影します。録画中にカメラを回転させても、滑らかに映像に保ちます。 詳細については、「 水平ロック / 水平維持 (134ページ) 」をご参照ください。
リニア (19~33mm)	SuperViewや広角での魚眼効果のない広い視野角。

注意：選択した解像度およびフレームレートと互換性があるレンズのみが、使用可能です。

GoProテック：Maxレンズモジュラー (別売) を使用すると、HEROカメラでは最大とされる超広角155°デジタルレンズで、視界を広げることができます。

仕様：ビデオ

最高品質ビデオモード

以下は、最高品質ビデオモードにおけるカメラのビデオ解像度、フレームレート (fps)、デジタルレンズ、アスペクト比の概要です。

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz / 50Hz)*	デジタルレンズ	画面解像度	アスペクト比
5.3K	60/50	SuperView、 広角、リニア、 リニア + 水平維持	5312x2988	16:9
5.3K	30/25 24/24	HyperView、 SuperView、 広角、リニア、 リニア + 水平ロック	5312x2988	16:9
5.3K 4:3	30/25 24/24	広角、リニア、 リニア + 水平ロック	5312x3984	4:3
5.3K 8:7	30/25	広角	5312x4648	8:7
4K	120/100	SuperView、 広角、リニア、 リニア + 水平維持	3840x2160	16:9
4K	30/25 24/24	SuperView、 広角、リニア、 リニア + 水平ロック	3840x2160	16:9

使用する設定についてのヒントは、「[推奨設定 \(34ページ\)](#)」をご参照ください。

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「[アンチフリッカー \(101ページ\)](#)」をご参照ください。

仕様：ビデオ

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz / 50Hz)*	デジタルレンズ	画面解像度	アスペクト比
4K	60/50	HyperView、SuperView、広角、リニア、リニア + 水平ロック	3840x2160	16:9
4K 4:3	60/50 30/25 24/24	広角、リニア、リニア + 水平ロック	4000x3000	4:3
4K 8:7	30/55	広角	5312x4648	8:7
2.7K	240/200	広角、リニア、リニア + 水平維持	2704x1520	16:9
2.7K	120/100 60/50	SuperView、広角、リニア、リニア + 水平ロック	2704x1520	16:9
2.7K 4:3	120/100 60/50	広角、リニア、リニア + 水平ロック	2704x2028	4:3
1080p	240/200	広角、リニア、リニア + 水平維持	1920x1080	16:9
1080p	120/100 60/50 30/25 24/24	SuperView、広角、リニア、リニア + 水平ロック	1920x1080	16:9

使用する設定についてのヒントは、「[推奨設定 \(34ページ\)](#)」をご参照ください。

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「[アンチフリッカー \(101ページ\)](#)」をご参照ください。

仕様：ビデオ

省電力ビデオモード

省電力モードでは、以下の解像度とフレームレートが使用されます。録画時間は伸びますが、画質は標準品質となります。

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz / 50Hz)*	デジタルレンズ	画面解像度	アスペクト比
5.3K	30/25 24/24	HyperView、SuperView、広角、リニア	5312x2988	16:9
4K	60/50	HyperView、SuperView、広角、リニア	3840x2160	16:9
4K	30/25 24/24	SuperView、広角、リニア	3840x2160	16:9
4K 4:3	60/50 30/25 24/24	広角、リニア	4000x3000	4:3
2.7K	60/50	SuperView、広角、リニア	2704x1520	16:9
2.7K 4:3	60/50	広角、リニア	2704x2028	4:3

使用する設定についてのヒントは、「[推奨設定 \(34ページ\)](#)」をご参照ください。

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「[アンチフリッカー \(101ページ\)](#)」をご参照ください。

仕様：ビデオ



高解像度 / 高フレームレート

屋外の気温が高い環境で高解像度または高fpsのビデオを撮影すると、カメラが高温になり消費電力が増える原因となります。

空気の流れがないところでGoPro Quikアプリに接続すると、カメラがさらに高温になり、より多くの電力を使用するため、録画時間が短縮されてしまいます。

加熱による問題が発生した場合は、録画するビデオを短くしてみてください。また、GoPro Quikアプリのように、多くの電力を消費する機能の利用を控えてください。The Remote (別売) は、低消費電力でGoProを制御できます。

シャットダウンして冷却する必要がある場合、カメラから通知されます。

詳細については、「[重要なメッセージ\(108ページ\)](#)」をご参照ください。

水平ロック / 水平維持

水平がしっかりと維持されることにより、シネマティックなプロ品質のビデオを撮影することができます。録画時は、解像度やフレームレートに応じて水平ロックまたは水平維持のいずれかがオンになります。

GoProテック：水平コントロールとHyperSmooth (ハイパースムーズ) を併用すれば、究極のビデオブレ補正を実現できます。

仕様：ビデオ

水平ロック

水平ロックは、録画中にカメラが360°回転してもロックされ、(水平軸または垂直軸上での) 安定を維持します。アスペクト比16:9および4:3での録画時に、ほとんどのフレームレートと各解像度で使用できます。

水平維持

水平維持は、録画中にカメラを傾けても、滑らかで水平な映像に保ちます。各解像度 (5.3K60、4K120、2.7K240、1080p240) の最高フレームレートで、アスペクト比16:9での録画時に使用できます。

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz/50Hz)*	デジタルレンズ	アスペクト比
5.3K	60/50	リニア + 水平維持	16:9
5.3K	30/25 24/24	リニア + 水平ロック	16:9
5.3K 4:3	30/25 24/24	リニア + 水平ロック	4:3
4K	120/100	リニア + 水平維持	16:9
4K	60/50 30/25 24/24	リニア + 水平ロック	16:9

注意：水平コントロールはアスペクト比8:7での録画時は使用できません。

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「[アンチフリッカー\(101ページ\)](#)」をご参照ください。

仕様：ビデオ

ビデオの解像度 (RES)	FPS (60Hz/50Hz)*	デジタルレンズ	アスペクト比
4K 4:3	60/50 30/25 24/24	リニア + 水平ロック	4:3
2.7K	240/200	リニア + 水平維持	16:9
2.7K	120/100 60/50	リニア + 水平ロック	16:9
2.7K 4:3	120/100 60/50	リニア + 水平ロック	4:3
1080p	240/200	リニア + 水平維持	16:9
1080p	120/100 60/50 30/25 20/20	リニア + 水平ロック	16:9

注意：水平コントロールはアスペクト比8:7での録画時は使用できません。

*60Hz (NTSC) および50Hz (PAL) はビデオのフォーマットを意味し、お住まいの地域によって異なります。詳細については、「[アンチフリッカー \(101ページ\)](#)」をご参照ください。

仕様：ビデオ

HYPERSMOOTHビデオブレ補正

HyperSmooth (ハイパースムーズ) は、カメラの揺れを修正することで、映像が非常に滑らかになります。録画中にビデオをクロップして映像をバッファアーマーします。サイクリング、スケート、スキー、手持ち撮影などに最適です。GoProには4つのHyperSmooth設定があります。

設定	説明
自動ブースト	最大のビデオブレ補正と可能な限り最も広い視野角を組み合わせたものです。クロップは、映像に求められるブレ補正のレベルに応じて変わります。
ブースト	画像をしっかりとクロップした、最大限の手ぶれ補正。
オン	高レベルのビデオブレ補正を行い、クロップを最小限に留めます。
オフ	手ぶれ補正またはクロップを行わずに録画します。

録画開始前にタッチズームを使用してショットをクロップすることで、より一層映像を滑らかにすることができます。これにより、カメラはビデオのぶれを補正する際に、より大きなバッファアーマーを使用できるようにもなります。水平ロックを使用することでブレ補正も強化されます。

仕様：ビデオ

GoProテク：Maxレンズモジュラー (別売) を使用して、最大2.7Kの優れたビデオスタビライズ機能により、GoProの能力を最大限まで引き出しましょう。

ループの間隔

GoProを5分 (初期設定)、20分、60分、120分のループ録画をするよう設定できます。また、「最大」と設定することも可能です。この場合、カメラはSDカードがいっぱいになるまで録画し、その後ループバックしてビデオの先頭から重ね撮りします。

仕様：写真

アスペクト比 (写真)

アスペクト比は、画像の幅と高さを表します。GoProはアスペクト比8:7で27MP写真を撮影します。この非常に臨場感あふれる形式は、横幅・縦幅ともにHEROカメラ史上最大の視野角です。縦方向に長くなるため、9:16の細長いショットやSNSの各プラットフォームに応じたサイズを作成できません。

GoPro Quikアプリによる写真編集

8:7というアスペクト比と27MPという写真解像度を組み合わせれば、クリエイティビティを刺激する超大型キャンバスになります。GoPro Quikアプリには、簡単に編集を行えるように設計されたさまざまなツールがあります。

- ・ 細部の劣化なしに、写真のお好きな部分をクロップしたりズームインしたりできます。
- ・ デジタルレンズ効果を切り替えて写真の視野角を調整できます。
- ・ 写真のアスペクト比を変更できます。

仕様：写真

SUPERPHOTO

スーパーフォトはシーンを自動的に分析し、ショットに最適な画像処理をインテリジェントに適用します。

光量やショットの中の動きなどの条件に応じて、SuperPhotoが次の3つのオプションからいずれかを選択します。

ハイダイナミックレンジ (HDR)

改良されたHDRでは、複数の写真を1つのショットに結合し、明るい光と影が混在したシーンを細部まで再現します。

マルチフレームノイズ低減

複数のショットを1枚の写真に自動的に結合して、デジタルの歪み (ノイズ) を低減します。

標準の写真

ローカルトーンマッピング機能を搭載しています。この機能では、必要な場所でのみ細部とコントラストを強調することで写真を補正します。

SuperPhotoは、1枚ずつ写真を撮影する場合にのみ機能します。画像処理の適用のために時間が必要となり、各ショットを処理して保存するのに少し長く時間がかかる場合があります。

注意：SuperPhotoは、RAW写真やProtune、露出コントロール設定下では機能しません。

SuperPhotoをオフにする

SuperPhotoは初期設定ではオンになっています。オフにする方法は以下の通りです。

1. 写真設定画面で、「出力」をタップします。
2. 「標準」、「HDR」、または「RAW」に切り替えます。

仕様：写真

HDR

ハイダイナミックレンジ (HDR) は、SuperPhotoが写真の質を向上させるために用いる画像処理技術の1つです。複数のショットをシングルフォトに結合して、かつてないほどの素晴らしいショットが実現します。写真を撮影するときに必ずHDRを使用するには、この設定を選択します。

1. 写真設定で、「出力」をタップします。
2. 「HDR」を選択します。

HDRオンは、1枚ずつ写真を撮影する場合にのみ使用できます。最良の結果を得るには、高コントラストのショットで動きを最小限にして使用します。

注意：HDRは、RAWや露出コントロールでは機能しません。

仕様：写真

シャッター速度 (ナイト + ナイトラプスフォト)

シャッター速度により、ナイトモードやナイトラプスフォトモードでカメラのシャッターが開いている時間が決まります。オプションと使用時のヒント

スピード	例
自動 (最大30秒)	日の出、日没、夜明け、夕暮れ、薄暮、夜間。
2秒、5秒、10秒、15秒	夜明け、夕暮れ、薄暮、ナイトグラフィック、観覧車、花火、ライトペインティング。
20秒	夜間の空 (光源あり)。
30秒	夜間の星、天の川 (完全な暗闇)。

GoProテク：ナイトフォトとナイトラプスフォトの使用時に手ブレを防ぐには、カメラを三脚に取り付けたり、安定した面に置いて、ぶれたり揺れたりしないようにします。

バーストレート

次の高速設定のいずれかを使用して、素早いアクションシーンを撮影します。

- 自動 (照明条件に基づいて1秒間に最大30枚)
- 6秒または10秒に60枚
- 1秒、3秒、6秒に30枚
- 1秒、3秒に10枚
- 1秒間に5枚
- 1秒間に3枚

仕様：写真

デジタルレンズ (写真)

デジタルレンズによって、カメラが捉えるシーンの広さが異なります。レンズは、ショットのズームレベルや魚眼効果にも影響します。写真には、次の3つのレンズオプションがあります。

デジタルレンズ	説明
広角 (16~34mm)	フレーム内にできるだけ広い範囲を収める広い視野角。
リニア (19~39mm)	広角での魚眼効果を取り除いた広い視野角。

GoProテク：Maxレンズモジュラー (別売) を使用すると、HEROカメラでは最大とされる超広角155°デジタルレンズで、視界を広げることができます。

仕様：写真

RAW形式

この設定がオンになっている場合、写真はすべて.jpg画像(カメラで表示する場合やGoProアプリで共有する場合) および.gprファイルで保存されます。

.gprファイルは、Adobe DNG形式に基づいています。これらのファイルは、Adobe Camera Raw (ACR)、バージョン9.7以降で使用できます。また、Adobe Photoshop Lightroom CC (2015.7リリース以降) および Adobe Photoshop Lightroom 6 (バージョン6.7以降) も使用できます。

写真モードでは、次の条件および例外により、RAW形式を写真、連写、ナイト、タイムラプス写真およびナイトラプス写真で使用できます。

- SuperPhotoがオフになっている必要があります。
- デジタルレンズを「広角」に設定する必要があります。
- ズームをオフにする必要があります。
- RAW形式は連続写真の撮影時には使用できません。
- タイムラプスフォトでは、間隔は5秒以上にする必要があります。
- ナイトラプスフォトでは、シャッター設定は5秒以上にする必要があります。

GoProテク：.gpr形式の写真は、.jpgファイルと同じファイル名で、同じ場所に保存されます。ファイルにアクセスするには、カードリーダーにSDカードを挿入し、コンピューターのファイルエクスプローラーでファイルを見つけます。

仕様：タイムラプス

タイムワープビデオの速度

タイムワープビデオの速度を最大30倍速にすれば、長時間のアクティビティを共有することができます。初期設定は、速度が自動的に設定される「自動」になっています。

自分で速度を設定することも可能です。この表を使って、ビデオの長さを予測してください。たとえば、2倍速で4分間録画すると、約2分のTimeWarpビデオが作成されます。

スピード	録画時間	ビデオの長さ
パフォーマンス	1分	30秒
5x	1分	10秒
10x	5分	30秒
15x	5分	20秒
30x	5分	10秒


注意：録画時間はおおよその時間です。ビデオの長さはショット内に含まれる動きによって異なる場合があります。

スピード	例
2x~5x	景色のよい道路での運転。
10x	ハイキングや探検。
15x~30x	ランニングやマウンテンバイク。


GoProテク：最高の結果を得るため、がたがたと揺れる可能性のある映像を撮影する場合は、速度を「自動」設定のままにしてください。

仕様：タイムラプス

スピードラップ (TIMEWARP)

TimeWarp録画中にリアタッチスクリーンをタップして、ビデオの速度を徐々に下げます。もう一度タップすると、元の速さに戻ります。録画前に撮影画面の  をタップするか、TimeWarp設定メニューに移動して、速度を選択します。次の2つのオプションがあります。

スピード	フレーム/秒	サウンド
リアルスピード (1倍速)	30fps	オン
ハーフスピード (0.5倍速 スローモーション)	60fps	オフ

GoProテク：モードボタン  を使用して、スピードラップを有効にすることもできます。設定メニューの「ショートカット」まで下にスクロールして設定します。

ビデオの解像度 (TIMEWARP、タイムラプスビデオ)

HERO11 Blackは、タイムワープビデオとタイムラプスビデオを4種類の解像度で撮影します。

解像度	アスペクト比
5.3K	16:9
4K	16:9
4K	4:3
1080p	16:9

詳細については、「[アスペクト比 \(ビデオ\) \(129ページ\)](#)」をご参照ください。

仕様：タイムラプス

タイムラプスの間隔

間隔の設定により、カメラがタイムラプスビデオやタイムラプスフォトモードの場合に、写真を撮影する頻度が決定します。

使用可能な間隔は、0.5 (初期設定)、1秒、2秒、5秒、10秒、30秒、および1分、2分、5分、30分、1時間です。

間隔	例
0.5秒~2秒	サーフィン、自転車、他のスポーツ。
2秒	往来の激しい街かど。
5秒~10秒	雲や屋外風景の長時間撮影。
10秒~1分	アートプロジェクトやその他の長時間を要する活動。
1分~1時間	非常に長い時間を要する建設工事またはその他の活動。

仕様：タイムラプス

タイムラプスビデオの録画時間

この表を使用して、録画するビデオの長さを決定してください。

間隔	録画時間	ビデオの長さ
0.5秒	5分	20秒
1秒	5分	10秒
2秒	10分	10秒
5秒	1時間	20秒
10秒	1時間	10秒
30秒	5時間	20秒
1分	5時間	10秒
2分	5時間	5秒
5分	10時間	4秒
30分	1週間	10秒
1時間	1週間	5秒

GoProテク：最良の結果を得るために、カメラを三脚に取り付けたり、安定した面に置いて、ぶれたり揺れたりしないようにします。タイムワープビデオを使用して、動いている間にタイムラプスビデオを撮影します。

仕様：タイムラプス

ナイトラプスの間隔

ナイトラプスモードでGoProがシャッターを切る頻度を選択します。ナイトラプスの間隔は、自動、4秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、および1分、2分、5分、30分、60分です。

「自動」(初期設定)を選択すると、シャッター設定の間隔と同期されます。シャッター速度が10秒に設定されていて、間隔が「自動」の場合、カメラは10秒ごとにシャッターを切ります。

間隔	例
自動	すべての露出に最適(シャッターの設定に従いながら最速でシャッターを切ります)。
4秒～5秒	夕刻の街の風景、街の照明、動きのある場面。
10秒～15秒	明るい月夜の雲の動きなど、ゆったりとシーンが移り変わる薄暗い環境での撮影。
20秒～30秒	最小限の環境光量や街灯の下で見上げる星空のように、極めて低光量または極めて動きの少ないシーンの撮影。

仕様：タイムラプス

ナイトラプスの間隔

ナイトラプスモードでGoProがシャッターを切る頻度を選択します。ナイトラプスの間隔は、自動、4秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒、および1分、2分、5分、30分、60分です。

「自動」(初期設定)を選択すると、シャッター設定の間隔と同期されます。シャッター速度が10秒に設定されていて、間隔が「自動」の場合、カメラは10秒ごとにシャッターを切ります。


間隔	例
自動	すべての露出に最適(シャッターの設定に従いながら最速でシャッターを切ります)。
4秒～5秒	夕刻の街の風景、街の照明、動きのある場面。
10秒～15秒	明るい月夜の雲の動きなど、ゆったりとシーンが移り変わる薄暗い環境での撮影。
20秒～30秒	最小限の環境光量や街灯の下で見上げる星空のように、極めて低光量または極めて動きの少ないシーンの撮影。

仕様：Protune

Protuneは、色、ホワイトバランス、シャッター速度などの詳細設定を手動でコントロールすることにより、カメラが持つ潜在的な創造力をすべて引き出します。プロ仕様の色補正ツール、その他の編集用ソフトウェアと互換性があります。

いくつかのポイントをご紹介します。

- Protuneは、ループ以外の全モードで利用できます。設定メニュー内で下にスクロールすると、Protuneのすべての設定が表示されます。
- 露出コントロールを使用する場合、一部のProtuneの設定は使用できません。
- プリセット内のProtune設定で行った変更は、そのプリセットにのみ適用されます。たとえば、タイムラプスのホワイトバランスを変更しても、連写のホワイトバランスに影響を与えることはありません。

GoProテク：設定メニューの  をタップして、すべてのProtune設定を初期設定の状態に復元することができます。

10ビットHEVC

10ビットビデオは10億色の表示が可能なため、映像の色深度を強化できます。この設定をオンにすると、ビデオが10ビットHEVC形式で保存されます。

注意：この設定を使用する前に、お使いのデバイスが10ビットHEVCコンテンツの再生に対応しているか確認してください。

ビットレート

ビットレートにより、ビデオを1秒間録画するのに使用されるデータ量が決まります。「標準」と「高」のから選択してください。

ビットレート	説明
標準 (初期設定)	ファイルサイズを最小化するには、低いビットレートを 사용합니다。
高	最適な画質を得るため、最大120Mbps (5.3Kおよび4Kビデオ)の高ビットレートを 사용합니다。

仕様：Protune

カラー

カラーを使用することで、ビデオや写真のカラープロファイルを調整できます。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

カラー設定	説明
ナチュラル (初期設定)	実際の色に忠実なカラープロファイルで写真やビデオを撮影します。
自然な彩度	色彩豊かなカラープロファイルで写真やビデオを撮影します。
フラット	「フラット」はニュートラルなカラープロファイルで、他の機材で撮影された映像と合わせやすく色補正できるので、ポストプロダクションの幅が広がります。トーンカーブが長いので、「フラット」では影とハイライトのディテールがより捉えられます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを使用するとビデオや写真の色温度を調整し、寒色と暖色のバランスを最適化できます。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

この設定のオプションは、自動 (初期設定)、2300K、2800K、3200K、4000K、4500K、5000K、5500K、6000K、6500K、ネイティブです。値を小さくすると、暖色が強くなります。

また、「自動」を選択してホワイトバランスをGoProに設定させるか、「ネイティブ」設定を選択して最小限に色補正したファイルを作成し、ポストプロダクション時により正確な調整を行うこともできます。

仕様：Protune

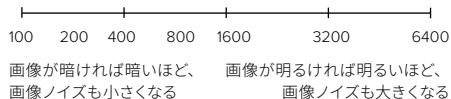
ISO最小 / 最大

ISO最小とISO最大を使用すると、光と画像ノイズに対するカメラの感度の範囲を設定できます。画像ノイズとは、ショットの粒度を意味します。

低光量時は、ISO値が高いほどより明るい映像を得られますが、画像ノイズが高くなります。値が低いほど、画像が暗くなり、イメージノイズが低くなります。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

「ISO最大」の初期設定値は、ビデオの場合は1600で、写真の場合は3200です。「ISO最小」の初期設定値は100です。

「ISO最大」と「ISO最小」は、録画時に「自動」に設定することもできます。これは特に、光の強度が変動する環境での撮影で役立ちます。



注意: ビデオおよび写真モードでは、ISOの動作はProtuneのシャッター設定に応じて異なります。選択した「ISO最大」は、ISOの最大値として使用されます。適用されるISO値は、照明条件に応じて、より低くなる場合があります。

GoProテク: 特定の値にISOをロックするには、「ISO最小」と「ISO最大」を同じ値に設定します。

仕様：Protune

シャッター

Protuneのシャッター設定は、ビデオモードと写真モードにのみ適用されます。この設定によりシャッターが開いている時間が決まります。オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。初期設定は「自動」です。

写真の場合、オプションは

自動、1/125秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒です。

ビデオの場合、オプションは次に説明されているように、fpsの設定によって異なります。

シャッター	例1: 1080p30	例2: 1080p60
自動	自動	自動
1/fps	1/30秒	1/60秒
1/(2xfps)	1/60秒	1/120秒
1/(4xfps)	1/120秒	1/240秒
1/(8xfps)	1/240秒	1/480秒
1/(16xfps)	1/480秒	1/960秒

GoProテク：ビデオや写真の手ブレを減らすために、シャッター設定の使用中は、カメラを三脚または安定した場所に固定して、ぶれたり揺れたりしないようにします。

仕様：Protune

露出値の補正 (EV値)

露出値を補正すると、写真とビデオの明るさに影響します。この設定を調整することで、コントラストの強い照明状況下での撮影時に画像品質が改善されます。

この設定のオプションは、-2.0～+2.0です。初期設定は-0.5です。

EV値画面の右側のオプションをスクロールして、それぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。値が高いほど、画像が明るくなります。

注意：ビデオでは、この設定は、「シャッター」が「自動」に設定されている場合にのみ利用できます。

また、シーンの特定の領域に基づいて露出を調整することもできます。詳細については、「[露出コントロール \(80ページ\)](#)」をご参照ください。

GoProテク：EV値は、既存のISO設定内で明るさを調整します。低光量下で明るさがISO設定に達している場合は、EV値の値を上げてても効果はありません。明るさを高めるには、より高いISO値を選択します。

仕様：Protune

シャープネス

シャープネスは、ビデオ映像や写真で撮影したディテールの質をコントロールします。この設定のオプションは、高、中 (初期設定)、および低です。

オプションをスクロールしてそれぞれの設定のライブプレビューを確認してから、必要なオプションをタップします。

GoProテク：編集でシャープネスを上げることを想定している場合は、この設定で「低」を選択してください。

仕様：Protune

RAWオーディオ

標準の.mp4オーディオトラックに加えて、ビデオ用の.wavファイルを作成します。RAWオーディオトラックに適用する処理のレベルを選択できます。

RAW設定	説明
オフ (初期設定)	個別の.wavファイルは作成されません。
低	最小限の処理を適用します。ポストプロダクションでオーディオ処理を適用する場合に最適です。
中	ウィンドノイズ低減の設定に基づいて中程度の処理を適用します。独自のゲインを適用する場合に最適です。
高	フルオーディオ処理 (自動ゲインおよびウィンドノイズ低減) を適用します。AACエンコードなしでオーディオを処理する場合に適しています。

SDカードをカードリーダーに挿入して、コンピューターの.wavファイルにアクセスします。.mp4ファイルと同じ名前で、同じ場所に保存されます。

仕様: Protune

ウィンドノイズ低減

HERO11 Blackは、3つのマイクを使って、ビデオの録画中に音声を録音します。撮影時の条件や、完成したビデオに使用したいサウンドの種類に基づいて、使用方法をカスタマイズすることができます。

設定	説明
自動 (初期設定)	風や水による過度なノイズを自動的に除去します。
オン	過度なウィンドノイズを除去したり、GoProを移動中の乗り物に搭載している場合に使用します。
オフ	風の音が音質に影響を与えることがなく、GoProで確実にステレオ録音したい場合に使用します。

カスタマーサポート

GoProはベストサービスに万全を期しております。GoProカスタマーサポートへのお問い合わせについては、gopro.com/helpをご参照ください。

登録商標

GoPro、HEROおよびそれぞれのロゴは、米国およびその他諸国におけるGoPro, Inc.の商標または登録商標です。© 2022 GoPro, Inc. All rights reserved.特許に関する情報については、gopro.com/patentsをご覧ください。GoPro, Inc., 3025 Clearview Way, San Mateo CA 94402 | GoPro GmbH, Baierbrunner Str.15 Bldg. D, 81379 Munich, Germany

規制情報

国別の認定書の詳細なリストをご覧いただくには、カメラに付属の「製品および安全に関する重要事項説明書」を参照するか、gopro.com/helpをご利用ください。

